

北朝鮮の遺跡を訪ねて—2019



I. はじめに

3年ぶりの訪朝 令和元年9月12日～17日(6日間)

II. ピョンヤンの遺跡

- (1) 青銅器時代 文興里支石墓
- (2) 古朝鮮時代 檀君陵・楽浪郡治跡土城(博築井戸)
- (3) 三国時代高句麗
 - 平壤城 安鶴宮と大城山城
 - 長安城 外城(羅城)
 - 古墳 大城山麓高山洞古墳群・真坡里古墳群(東明王陵)
 - 寺院 定陵寺跡

III. 高句麗壁画古墳

- (1) 安岳3号墳 冬壽墓説と故国原王陵説
- (2) 徳興里古墳
- (3) 江西三墓(大墓・中墓・小墓)

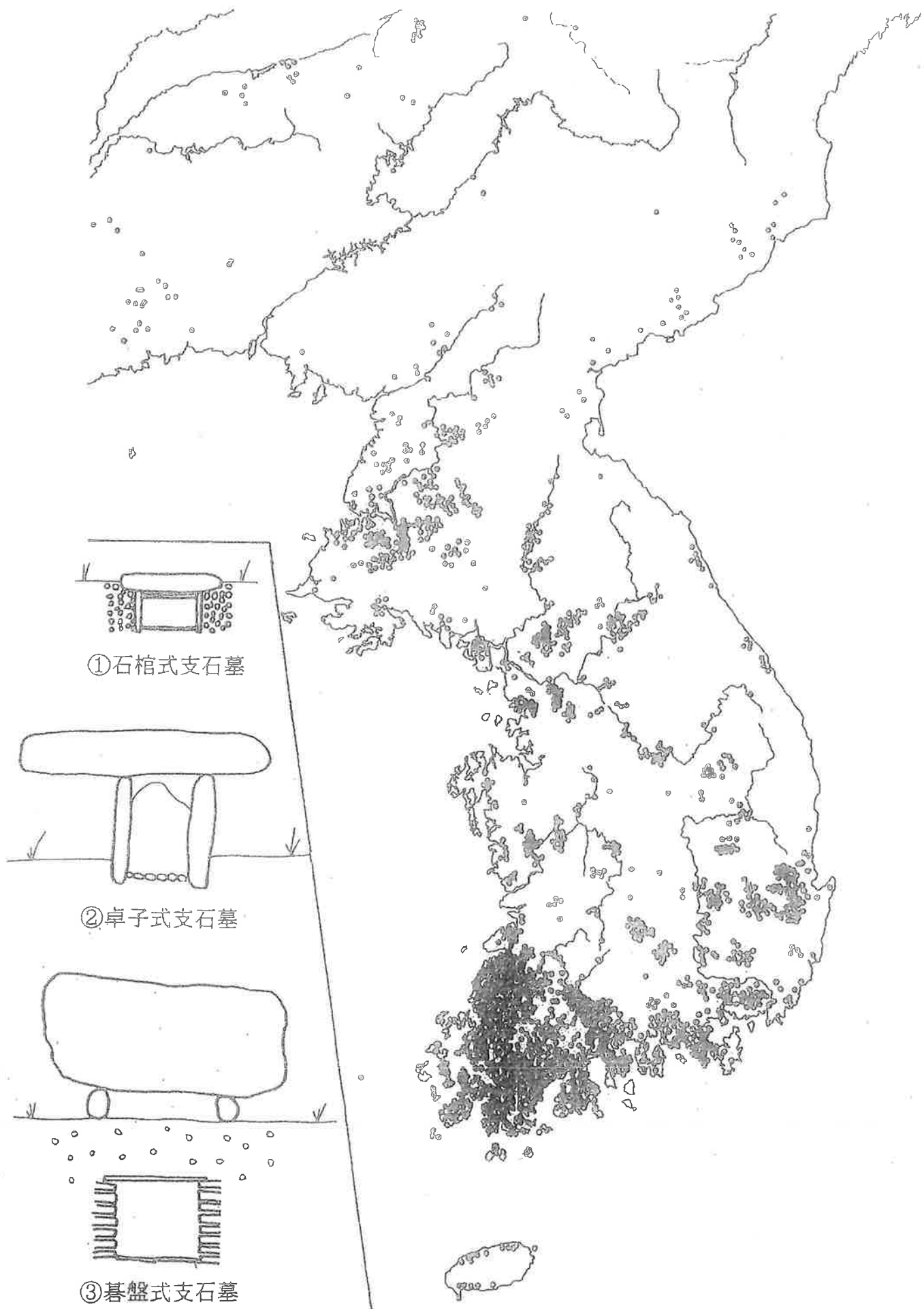
IV. 高麗時代 開城と沙里院の遺跡

- (1) 都城 満月台の王宮跡
- (2) 王陵 王建の顕陵
- (3) 寺院 靈通寺・成佛寺

V. おわりに

学术交流の必要性





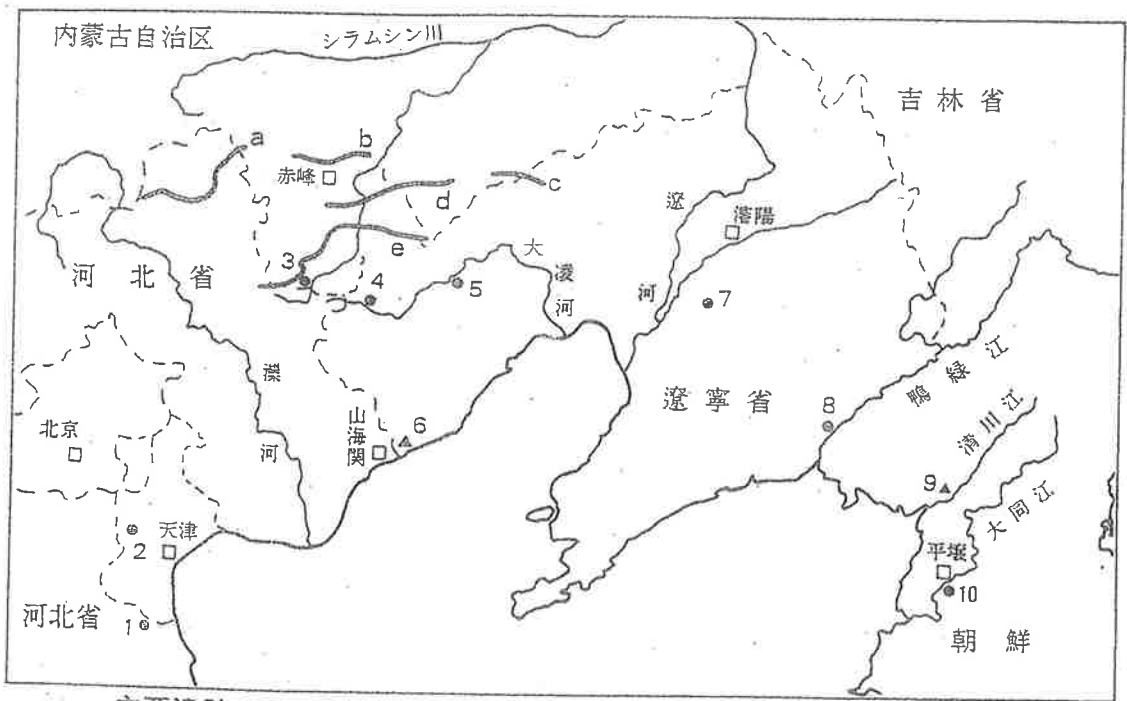
①石棺式支石墓

②卓子式支石墓

③碁盤式支石墓

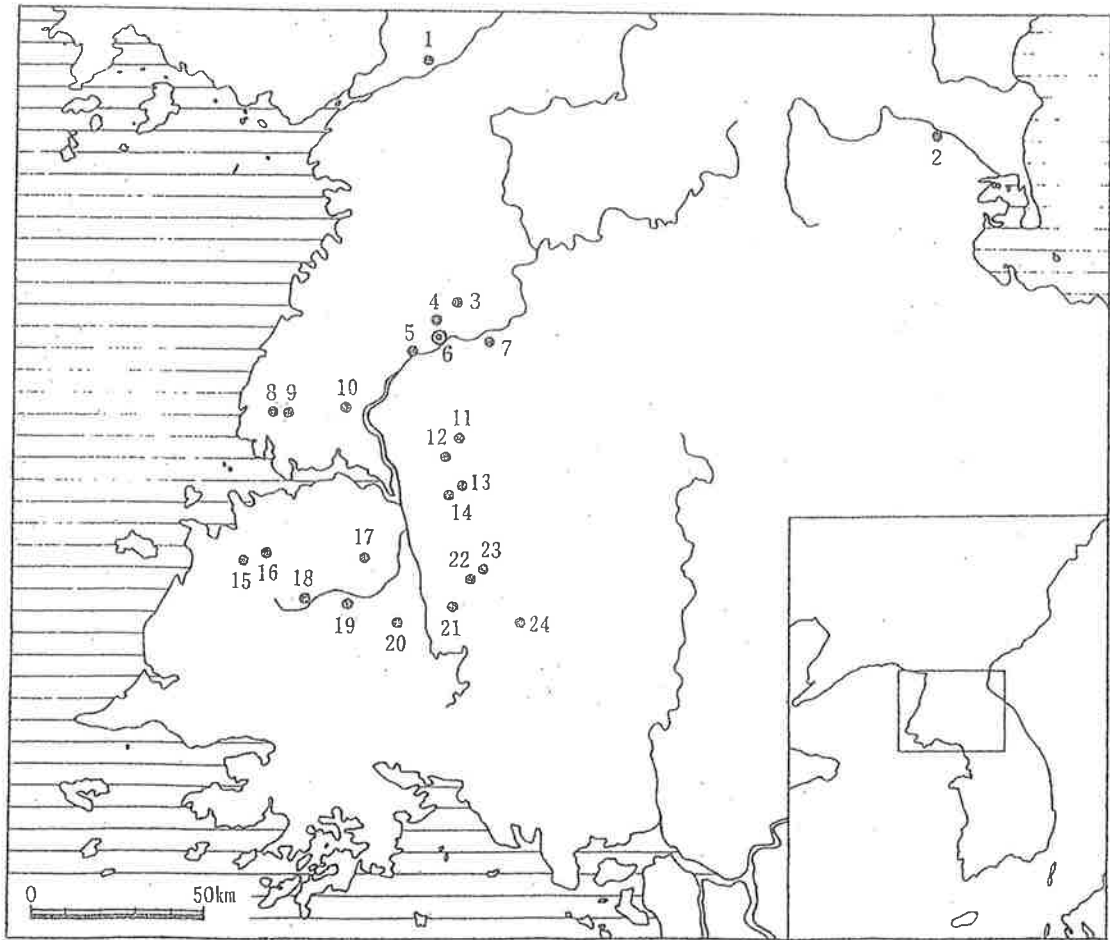
支石墓の分布 (甲元 1997) と種類 (甲元 1980)

早乙女雅博, 2000 『朝鮮半島の考古学』 同成社



主要遺跡の位置 1. 河北省黄驛県章武故城(渤海郡章武県?) 2. 天津市武清県泉州故城(漁陽郡泉州県?) 3. 内蒙古自治区寧城県黒城故城(右北平郡治平剛県?) 4. 遼寧省遼源県安杖子故城 5. 遼寧省朝陽市袁台子故城(遼西郡西部都尉治柳城県?) 6. 遼寧省綏西県姜女墳遺跡(秦漢碣石?) 7. 遼寧省遼陽市三道壕遺跡(遼東郡治襄平県に關係?) 8. 遼寧省丹東市錢河尖故城(遼東郡西安平県?) 9. 平安北道博川郡塚山里遺跡 10. 平壤市梁浪土城 a~e 戦国秦漢期の長城遺構 □現代の都市

谷 登信, 1987 「梁浪郡の位置」 『朝鮮史研究会論文集』 第24集



梁浪郡時代の遺跡分布図

1: 徳星里墳墓, 2: 所羅里土城, 3: 龍秋里墳墓, 4: 上里墳墓, 5: 万景台墳墓, 6: ピョ
ンヤン市, 7: 金灘里墳墓, 8: 於乙洞土城, 9: 葛城里甲墳, 10: 台城里墳墓群, 11: 黒橋里
墳墓, 12: 金石里墳墓, 13: 天柱里墳墓, 14: 順天里墳墓, 15: 雲城里土城・墳墓群, 16: 冠山
里墳墓, 17: 伏獅里墳墓群, 18: 楸陵里墳墓, 19: 青山里土城, 20: 富德里墳墓, 21: 葛峴里墳
墓, 22: 智塔里土城, 23: 松山里唐村墳墓, 24: 金大里墳墓群

三國史記

- 247 東川王 二十一年春二月王以九都城經亂不計復都
禁五樓城移民於廟社王壤者亦仙之三僉之
名也取之三都三陰
- 313 美川王 十四年冬十月復樂浪郡舊唐男女二千餘口
- 334 故國原王 四年秋八月增築平壤城冬十二月無營

十三年春二月王遣其弟繼臣入朝於燕王
以千數無三凱乃還其女曰猶留其母為質秋
七月移居平壤東其城在平壤東水苑山
中遣使賀朝夏十一月雪凡

四十一年冬十月王繼臣與共三萬來攻平壤
城王出師拒之為流矢所中是月二十三日薨
葬于故國之原平壤城在平壤東水苑山中
- 377 小獸林王 七年冬十月無雪雷民疫百濟將兵三萬來侵
平壤城十一月薨於百濟遺臣侍奉朝貢
- 392 高麗王 二年秋八月高麗侵南邊命將拒之劉元亨於
平壤
- 427 長壽王 十五年移都平壤
- 448 文咨王 七年春三月王于興安舊太子於七月創金
剛寺八月遣使入朝朝貢
- 529 安祿王 十一年春三月王既於慈城之東冬十月王與
百濟戰於五老瓦之報獲二千餘級
- 552 陽原王 八年築長安城
- 586 平原王 二十八年移都長安城

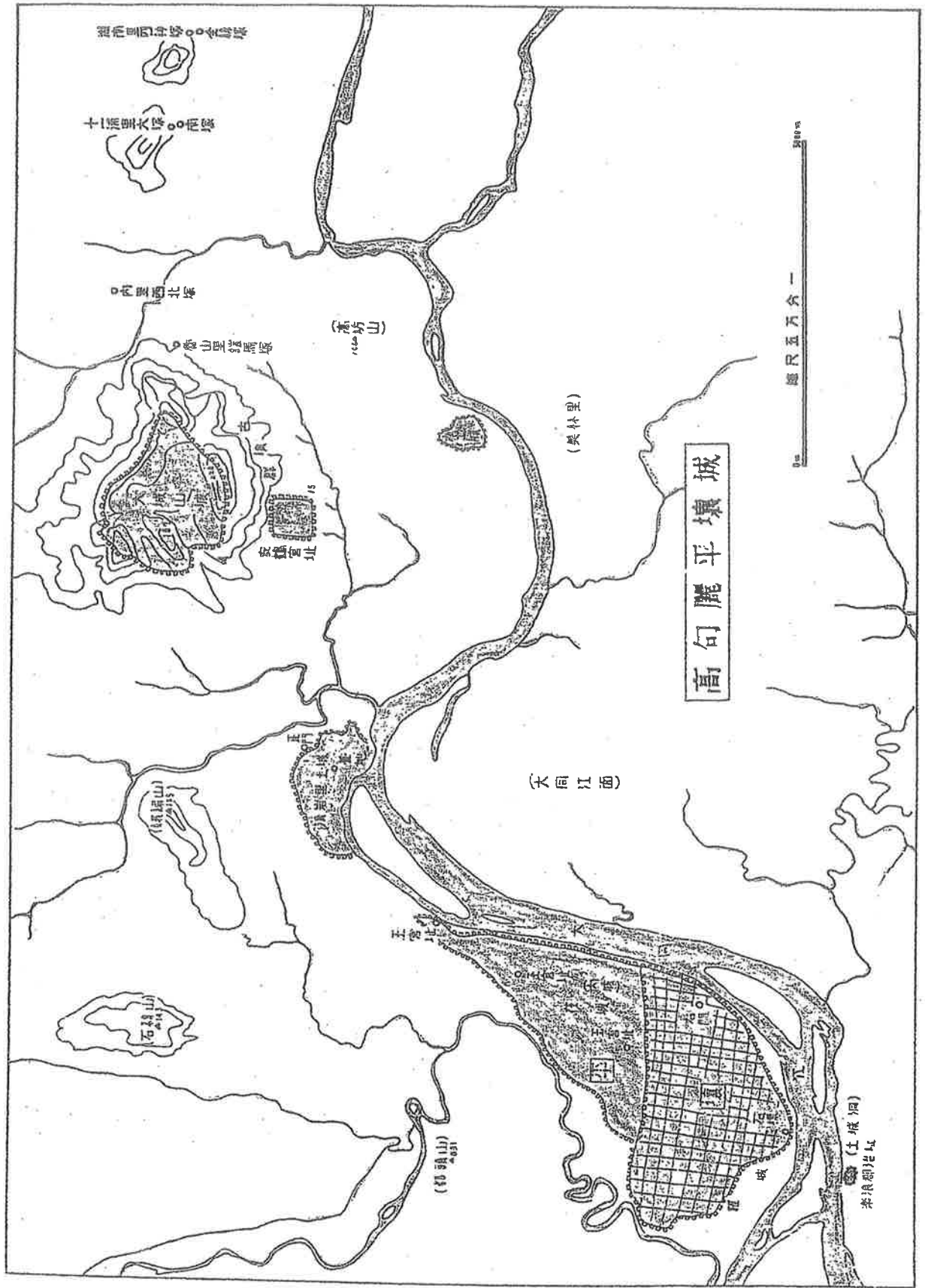
三國史記卷第三十七

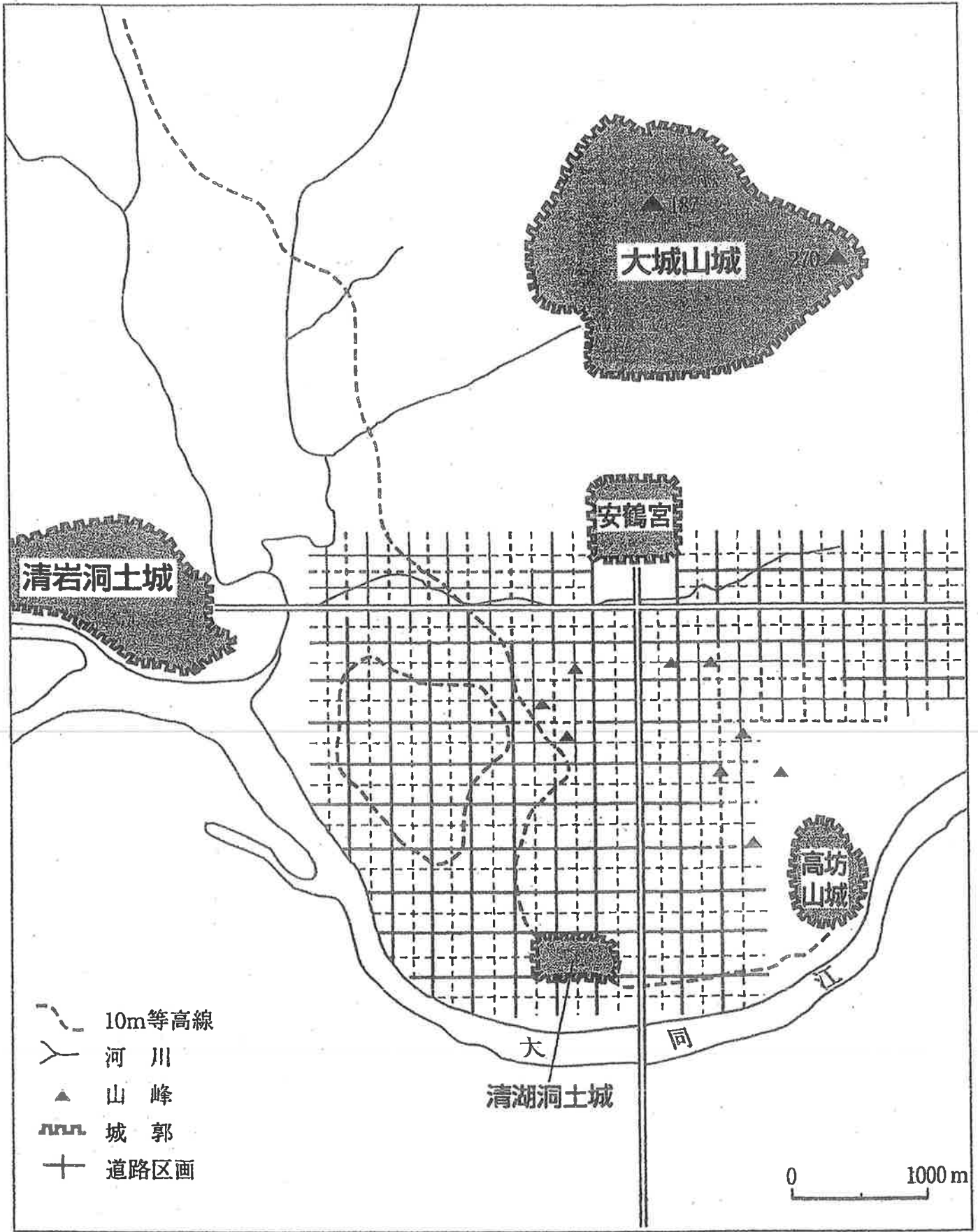
宣撰

雜志第六 地理 四 高麗 百濟

按通典云東漢建武二年自扶餘東南
行渡普敦水至統升骨城是號曰百濟其南
高麗古記云東家自扶餘至本朝統升
骨城本以一城也漢書志云東郡臨洛陽
三十六百里屬縣有無慮則周禮北鎮置
閭山也夫遠於其下置閭州至其郡臨洛陽
北四十里乃為三登而置是其一謂則所謂
扶餘所都統升骨城本善善漢多其都之
界文述國東之西漢志所謂五丸屬縣高
句麗是鄭音之遠夫王時遠帝在善則古
朝聘者過東其陸遠一兩日行百餘里以向
燕薊故知其然也自東家都統升骨城歷四
十年備置三十五年移都國內城國內城在平壤城東
按漢書燕薊郡屬善善其師之善善之在東國

公李郭東勃以高麗置善善郡善善及別於
目錄云鴨綠以北已降城十一其二國內城在
平壤城北十七驛則北城亦在北朝境內
但不知其何所耳都國內陸四百二十五年長
壽三十五年移都平壤歷一百五十六年平
原三十八年移都長安城歷八十二年寶祿
王二十七年而滅古人謂自地相推東家
與國原三十二年名居平壤東家善善城
在今西京西水之南中平可知其然平壤城
似今西京西水則大同江是也何以知之
善善平壤城漢樂浪郡也隨山屈餘為郡南障
頭水又流至東北海行南障海障過領江
口掖嘉得善善西又障場帝真在詔曰海
道置舟楫千里高帆電繞巨艦雲飛橫絕俱
江理遠平壤以此言之今大同江為須不明矣
別臣言之為平壤亦可矣東家善善平壤城亦
謂長安而古記云自平壤移都長安則二城同異
疑亦則不可知矣高麗善善中國北地則漸
東遷于渭水之側險海人善善曰善善善善

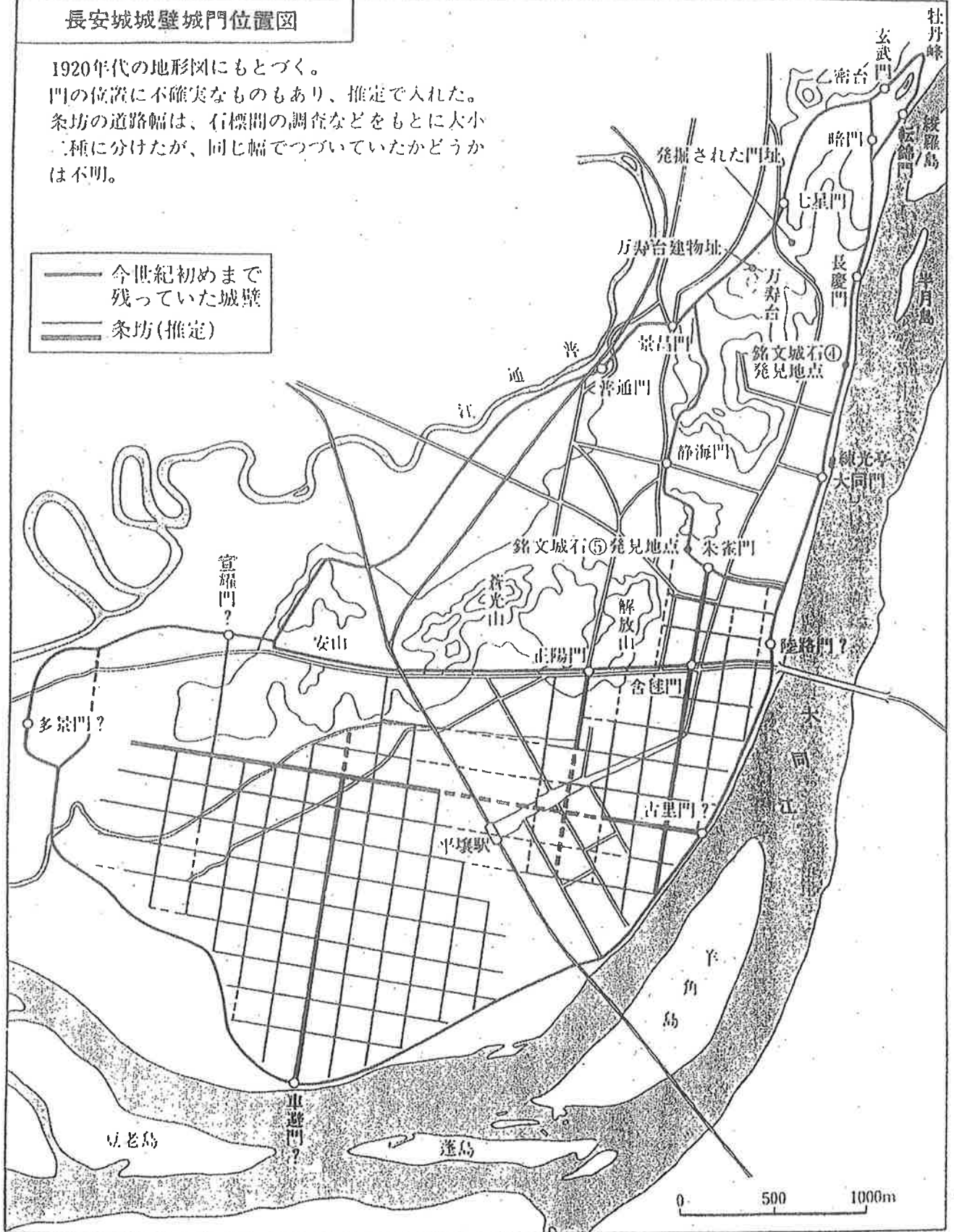




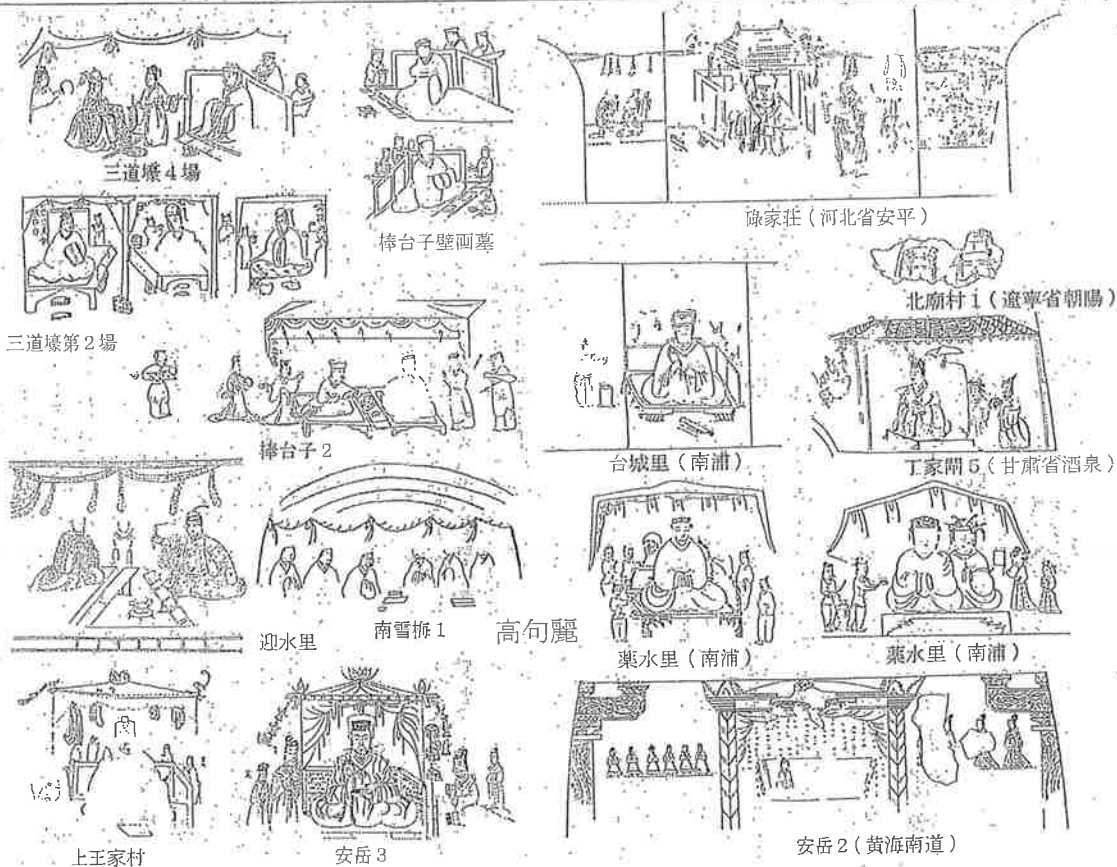
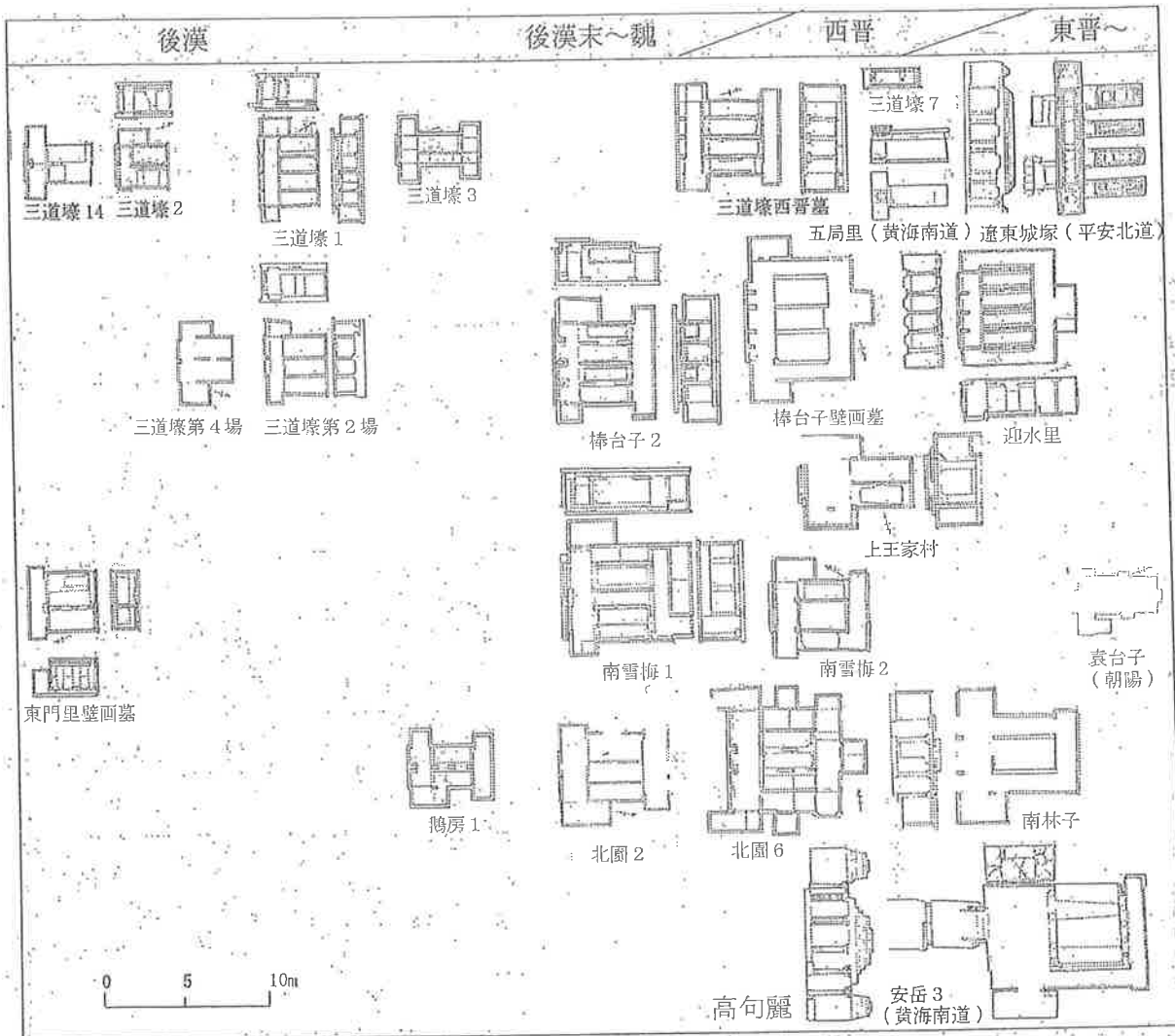
長安城城壁城門位置図

1920年代の地形図にもとづく。
 門の位置に不確実なものもあり、推定で入れた。
 条坊の道路幅は、石標間の調査などをもとに大小
 二種に分けたが、同じ幅でつづいていたかどうか
 は不明。

- 今世紀初めまで残っていた城壁
- 条坊(推定)



東潮・田中俊明 1995 『高句麗の歴史と遺跡』

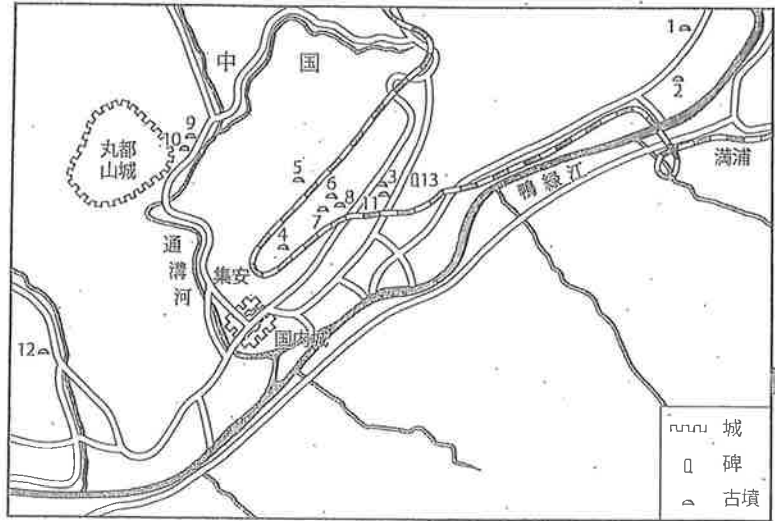


遼陽壁画墓の変遷 (上) と墓主図像 (下)

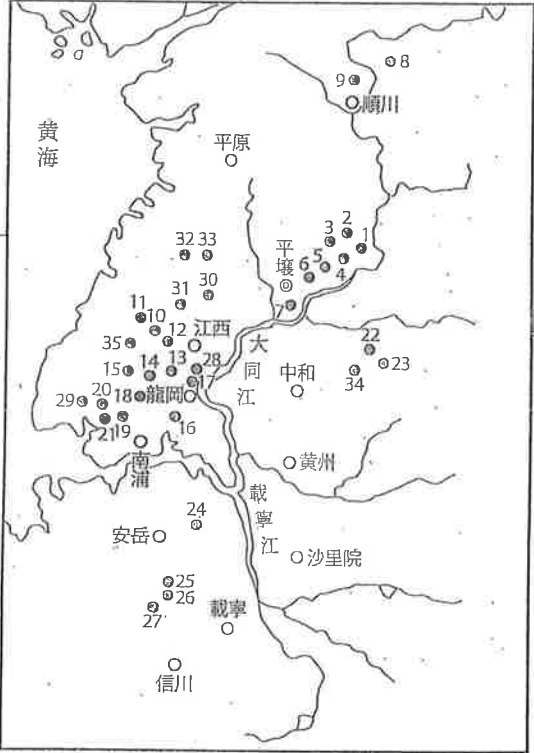
東朝, 2011 『高句麗壁画と東アジヤ』学生社

高句麗壁画古墳分布図

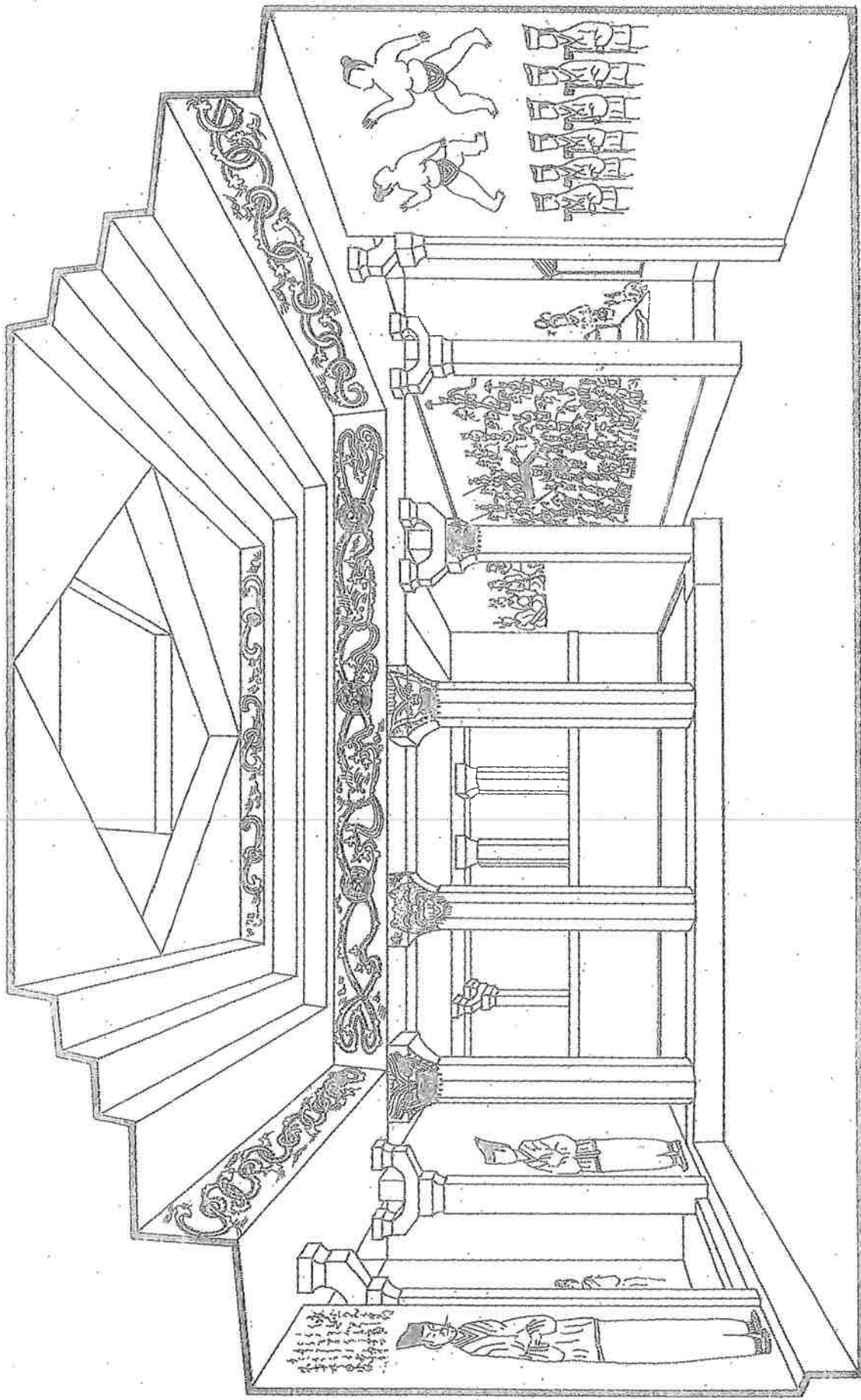
0 50 100km



- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. 環文塚 | 6. 通溝四神塚 | 11. 角抵塚 |
| 2. 羊頭婁塚 | 7. 五盤墳4号 | 12. 麻線溝1号墳 |
| 3. 舞踊塚 | 8. 五盤墳5号 | 13. 広開土王碑 |
| 4. 三室塚 | 9. 美人塚 | 14. 長川1号墳 |
| 5. 散蓮花塚 | 10. 龜甲塚 | |

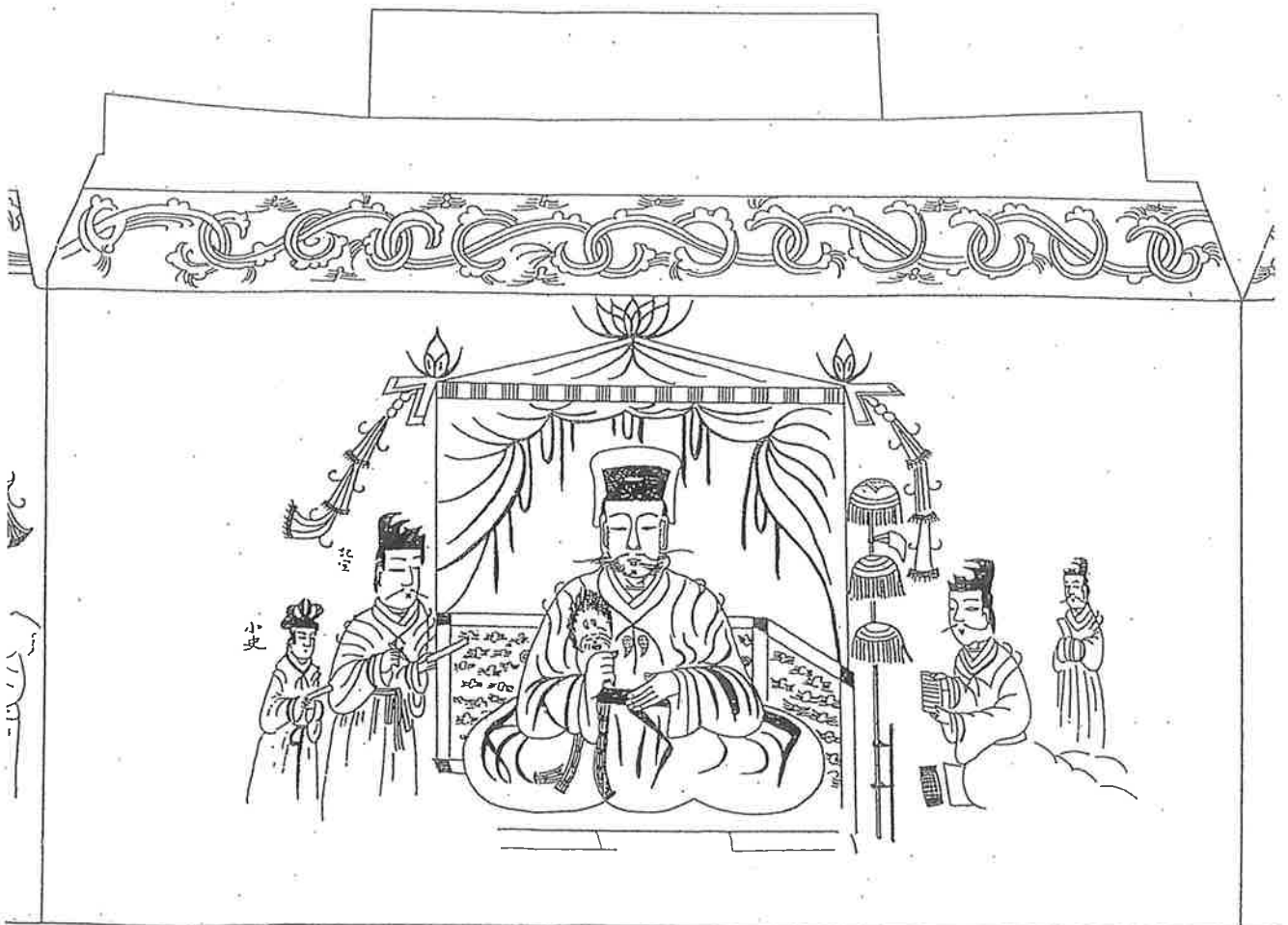
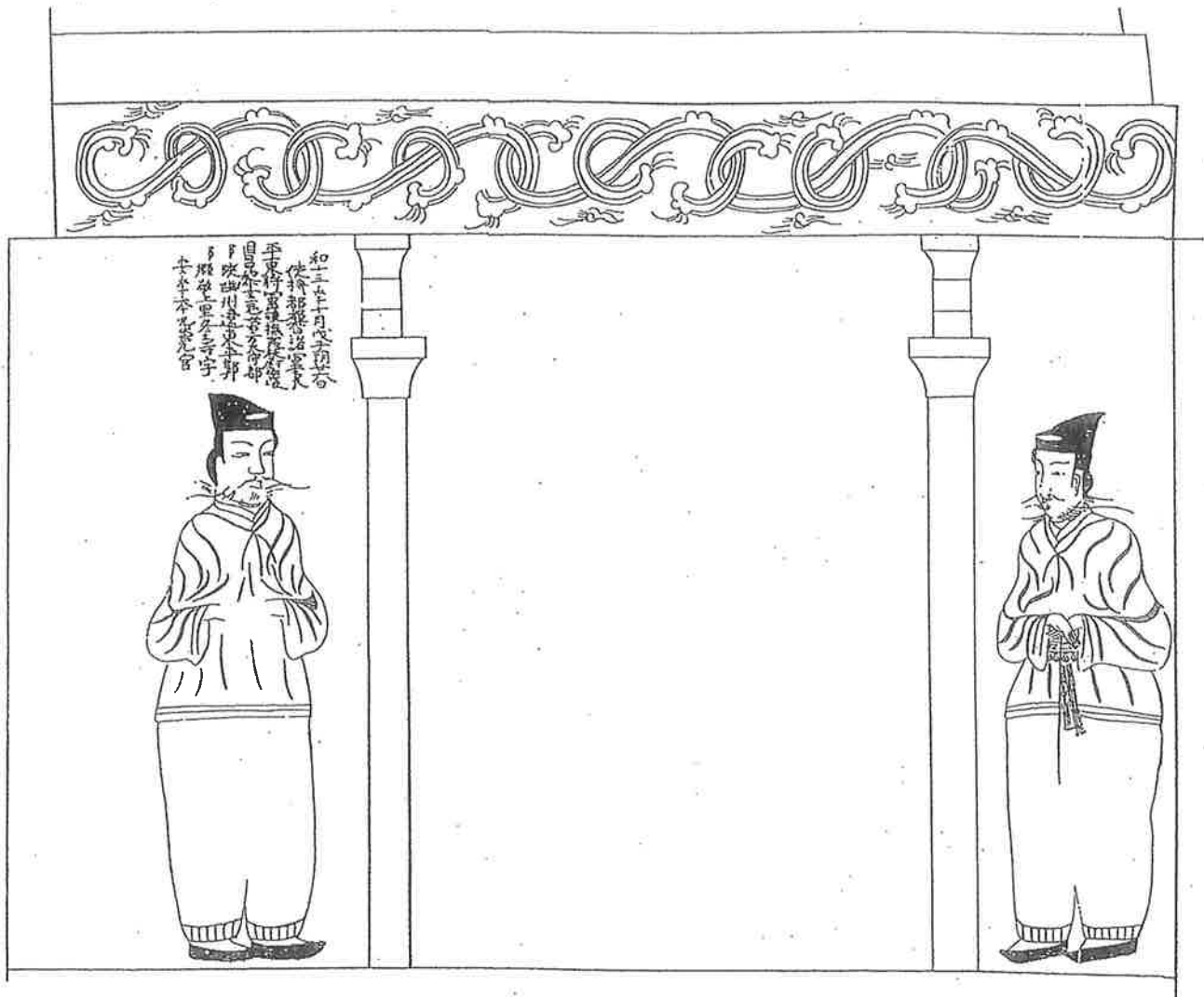


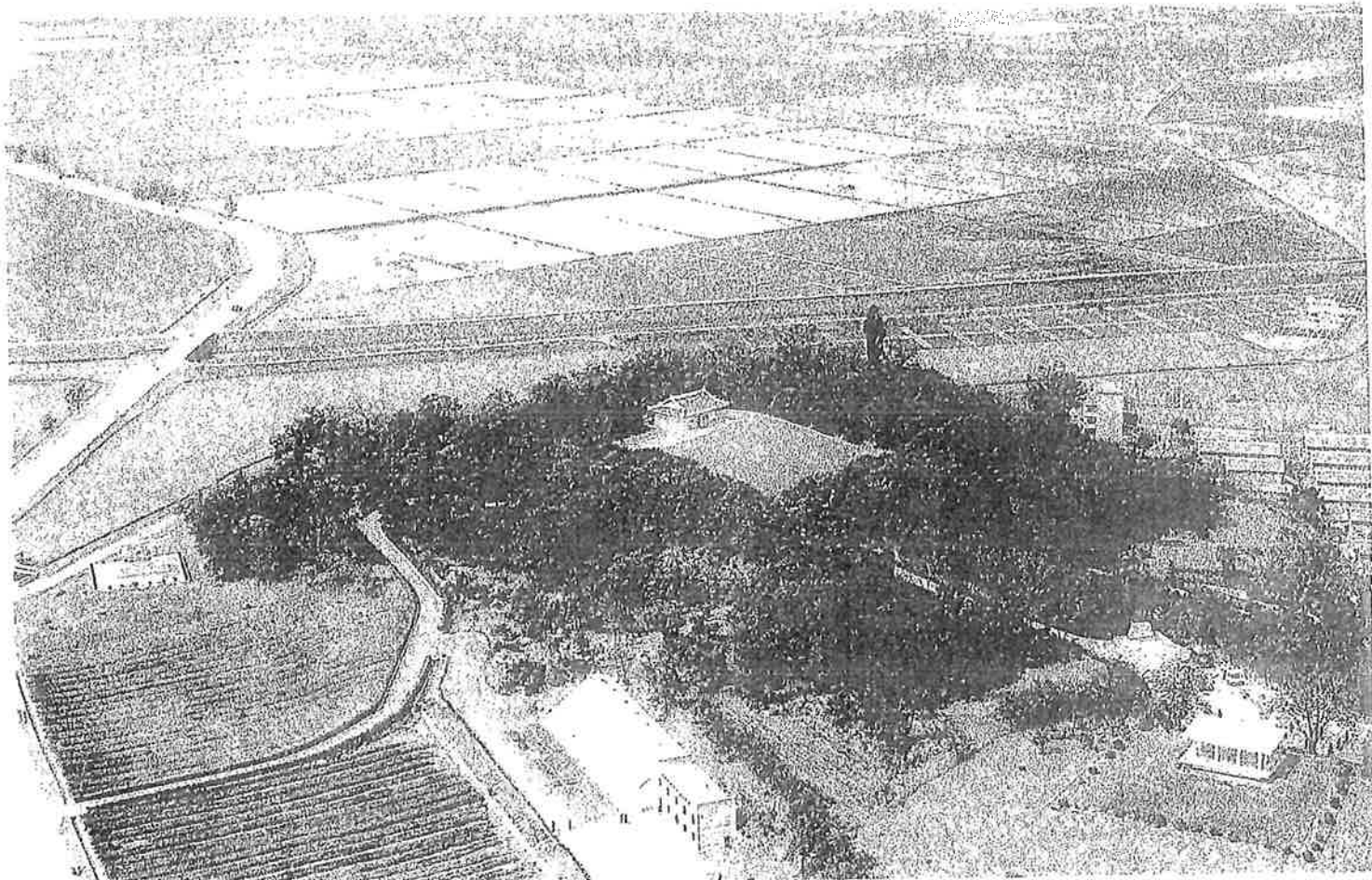
- | | | | | |
|-----------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 南京里1号墳 | 8. 天天地神塚 | 15. 台城里1号墳 | 22. 真坡里第4号墳 | 29. 麻永里古墳 |
| 2. 内里1号墳 | 9. 遼東城塚 | 16. 大安里1号墳 | 23. 真坡里第1号墳 | 30. 八清里古墳 |
| 3. 鐵馬塚 | 10. 江西大墓 | 17. 双楹塚 | 24. 伏師里古墳 | 31. 徳興里古墳 |
| 4. 湖南里四神塚 | 11. 江西中墓 | 18. 龍岡大墓 | 25. 安岳2号墳 | 32. 徳花里第1号墳 |
| 5. 高山里9号墳 | 12. 薬水里古墳 | 19. 狩淵塚 | 26. 安岳1号墳 | 33. 徳花里第2号墳 |
| 6. 高山里1号墳 | 13. 肝城里蓮花塚 | 20. 星塚 | 27. 安岳3号墳 | 34. 伝東明王陵 |
| 7. 平壤駅前古墳 | 14. 台城里第2号墳 | 21. 龕神塚 | 28. 大宝山里古墳 | 35. 水山里古墳 |



무덤칸 투시도

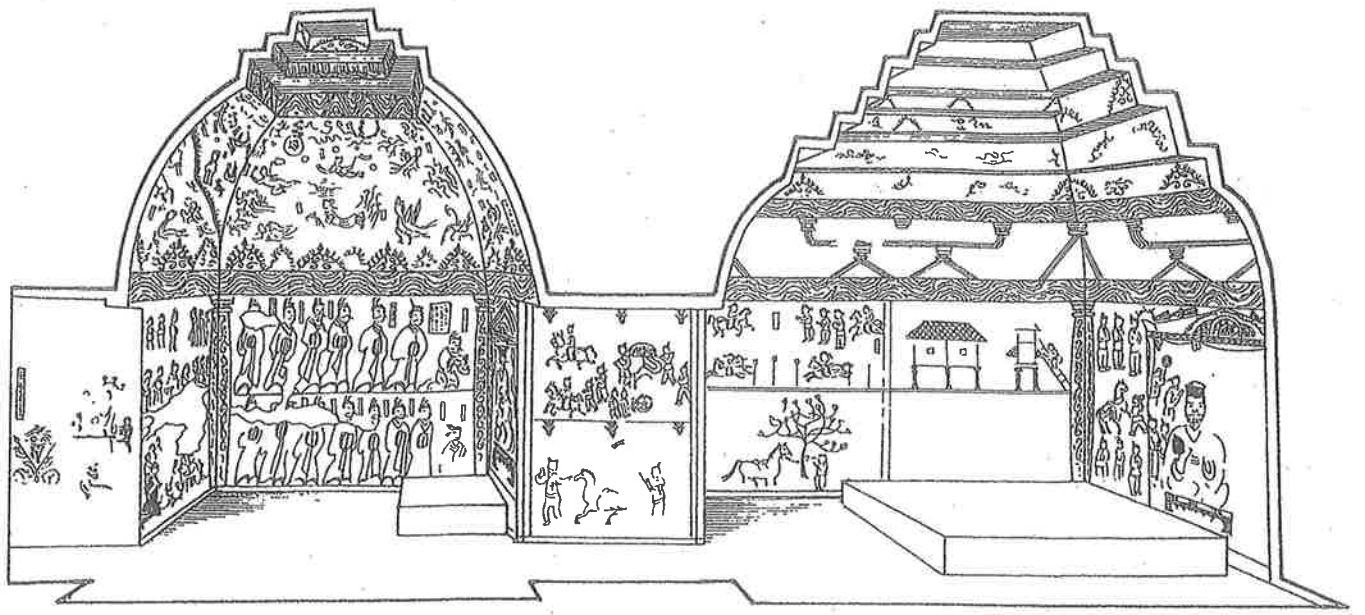
고국원왕릉 故國原王陵 社會科學出版社



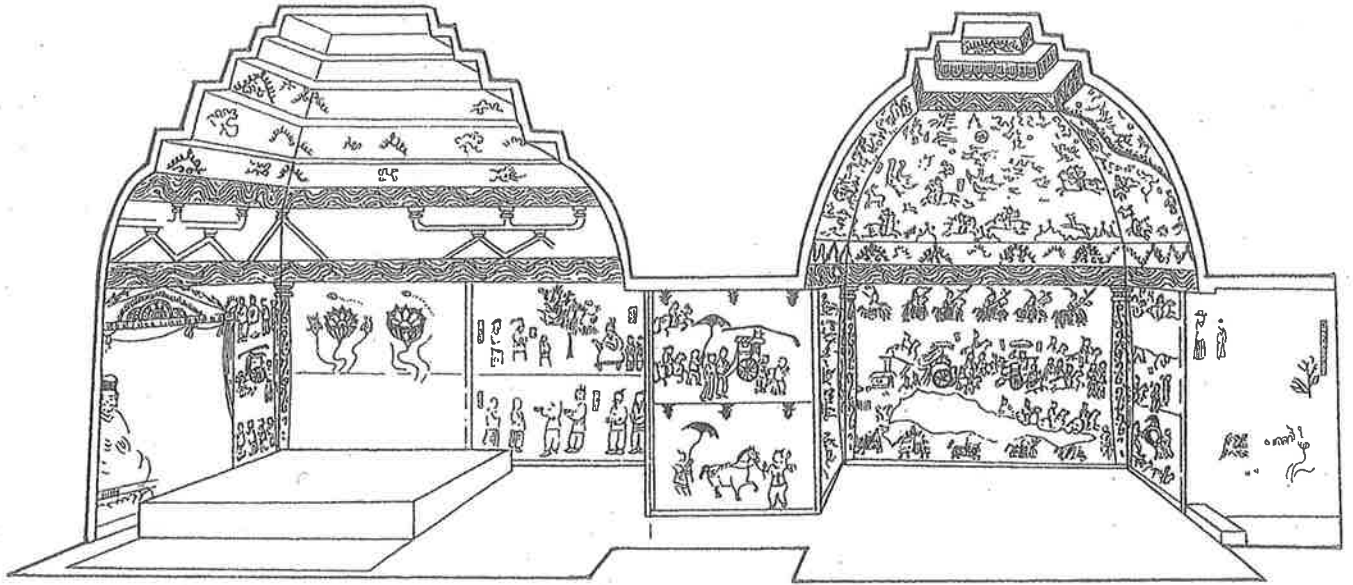


안악 3호분 항공사진 김정배, 2004 『南北共同遺蹟調査報告書 평양일대 고구려유적』 고려연구재단



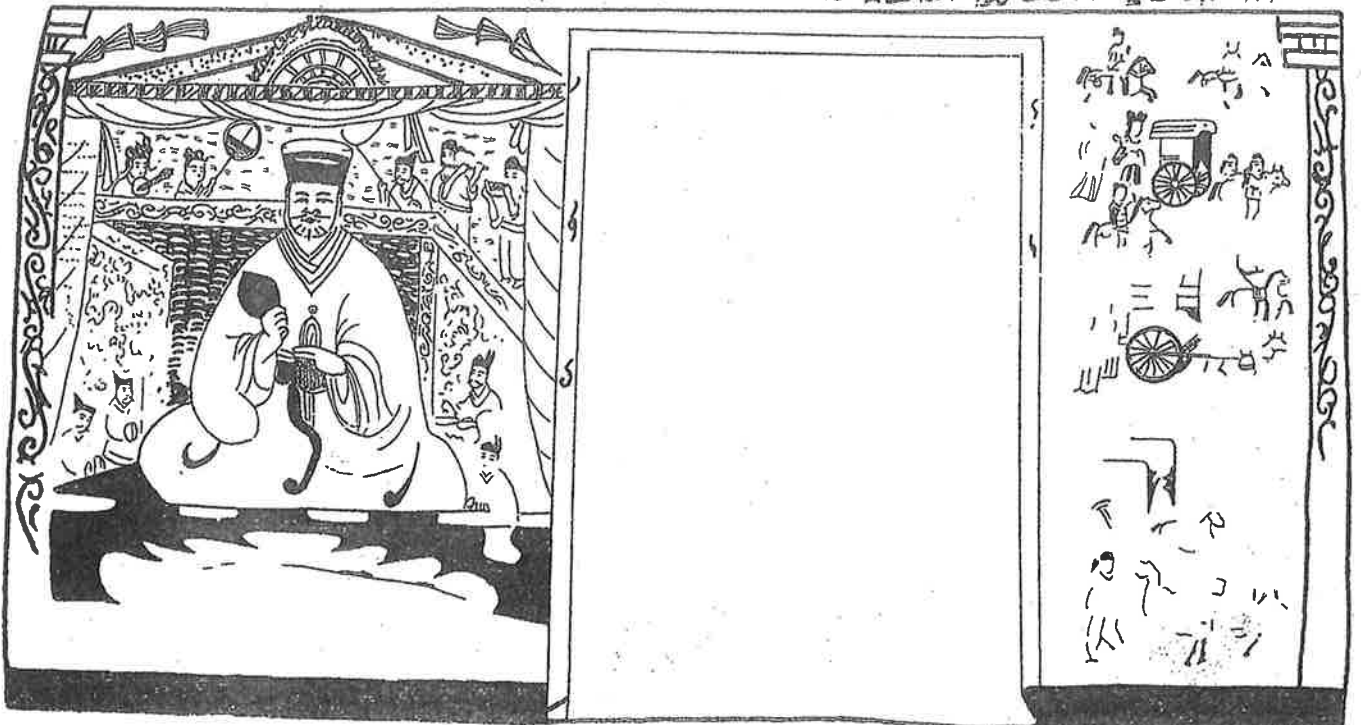


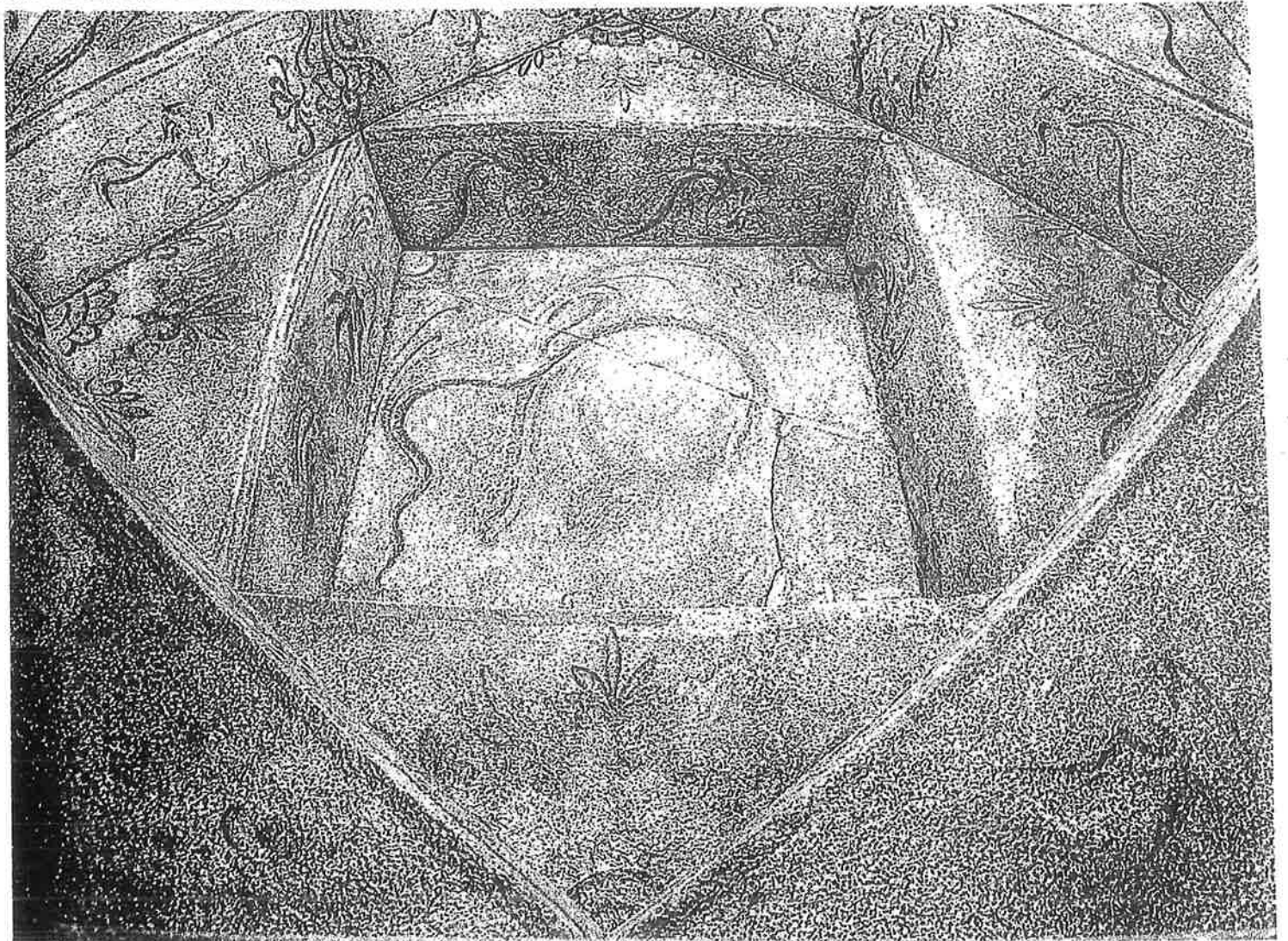
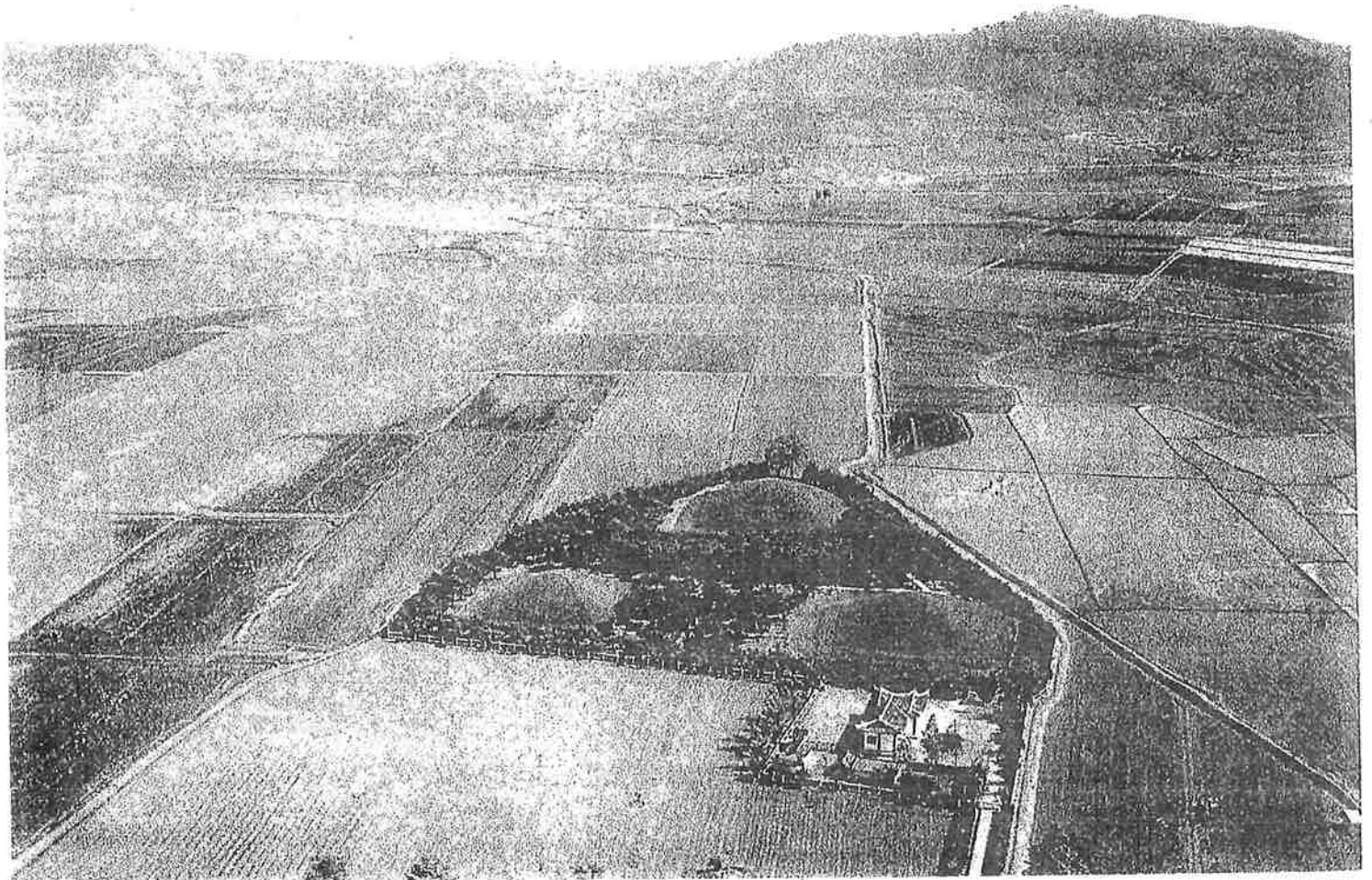
古墳透視図(西側)

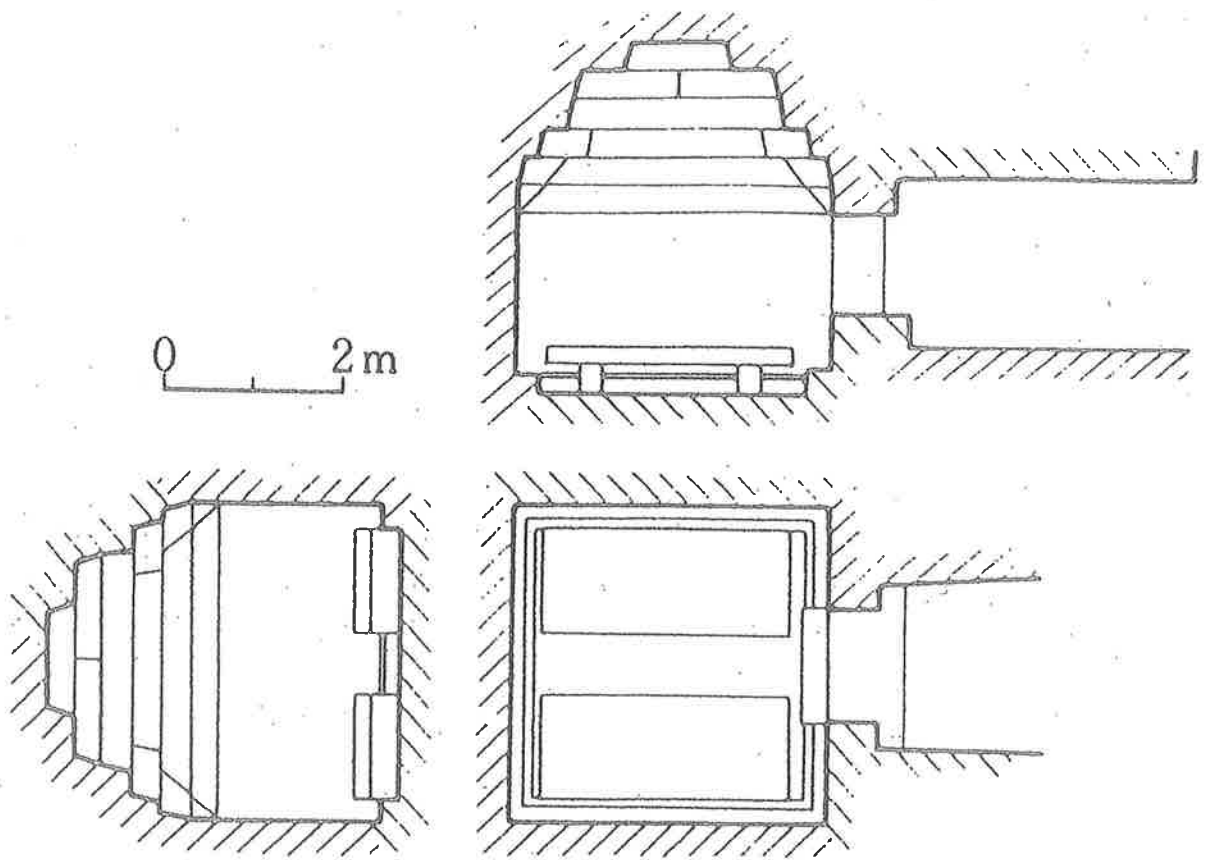


古墳透視図(東側)

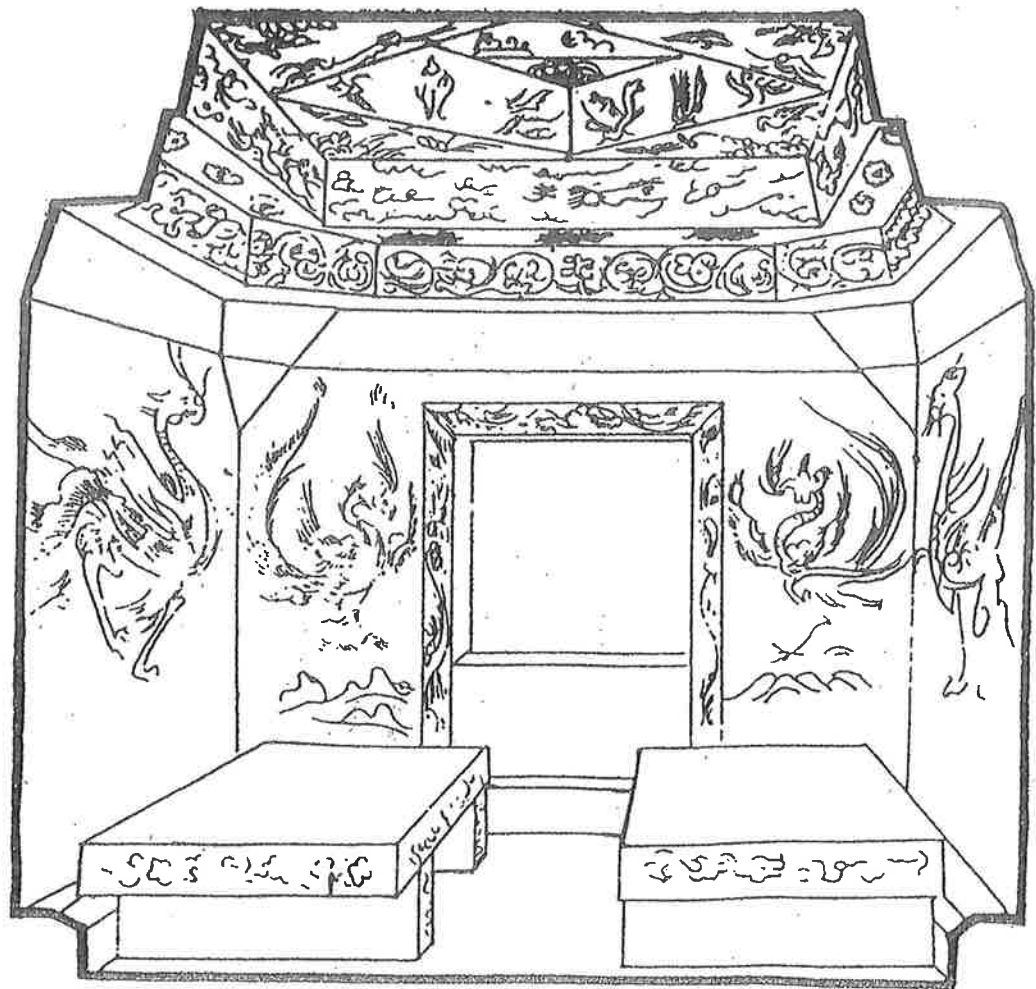
朝鮮民主主義人民共和國社会科学院・朝鮮画报社, 1986『徳興里高句麗壁画古墳』講談社



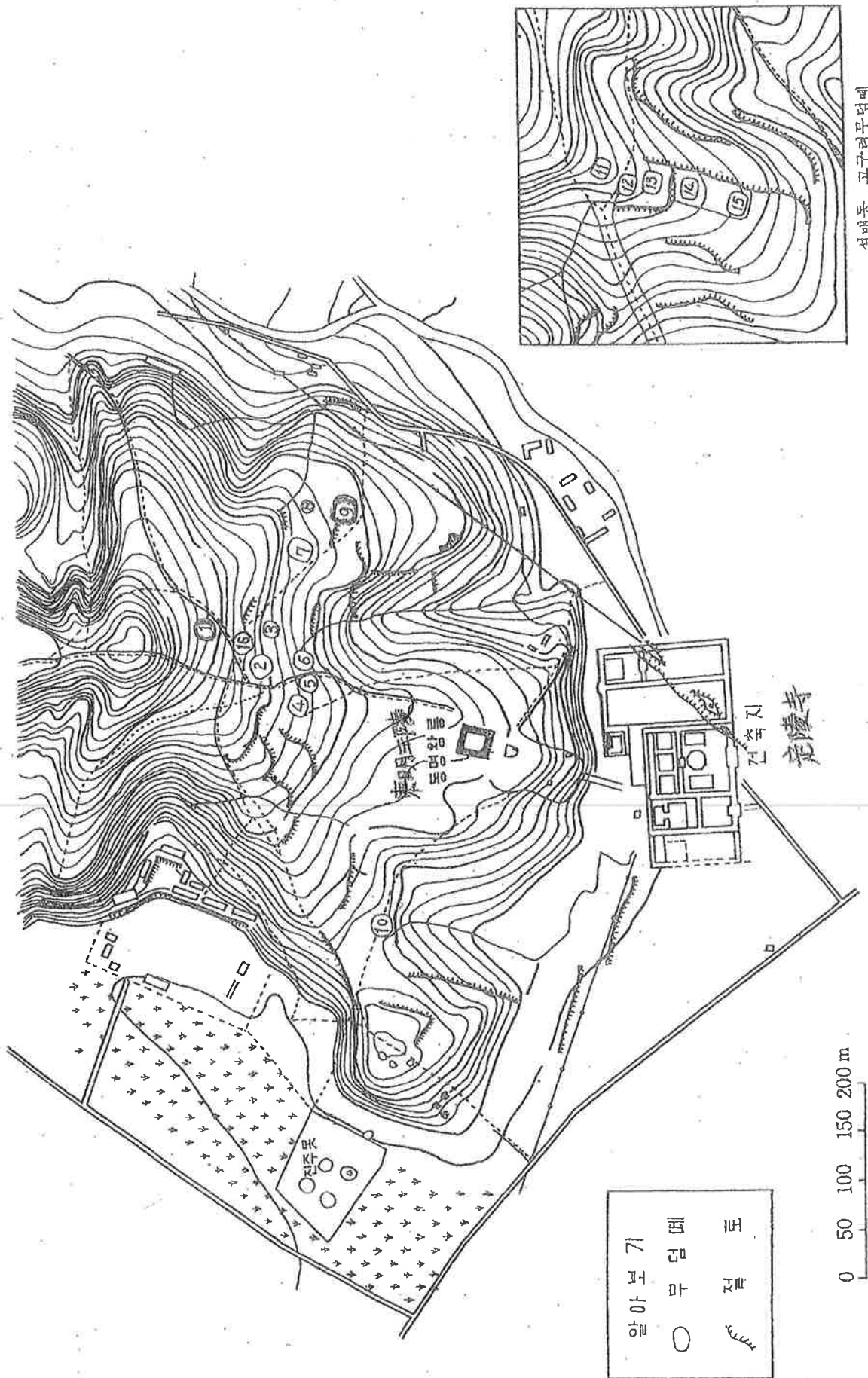




江西大墓石室

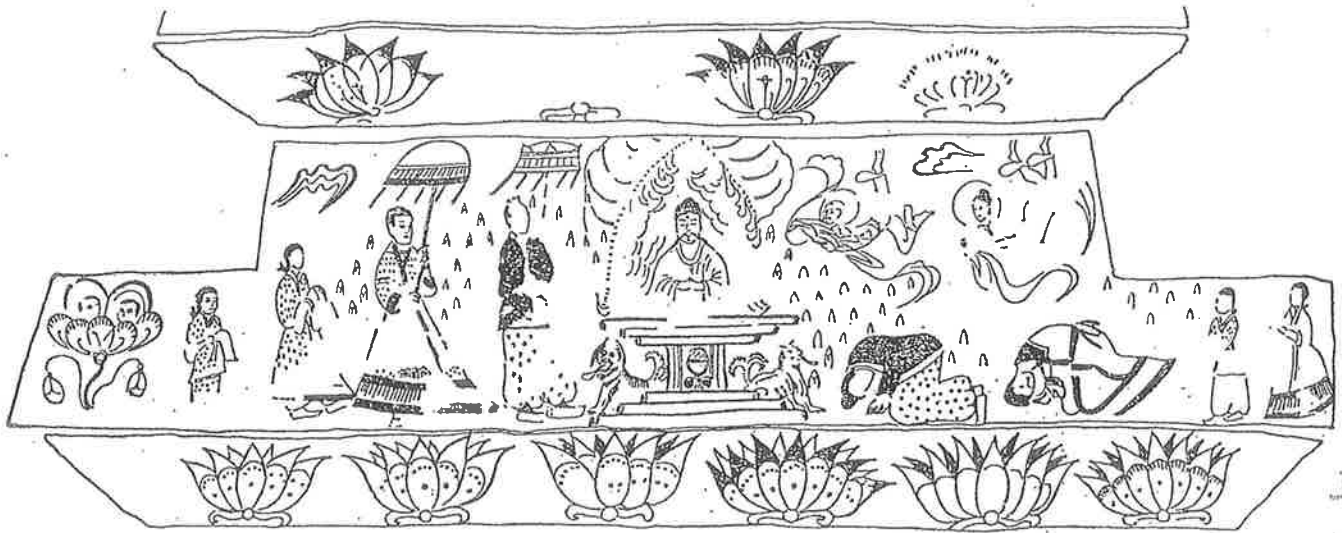


江西大墓玄室南半部の壁画

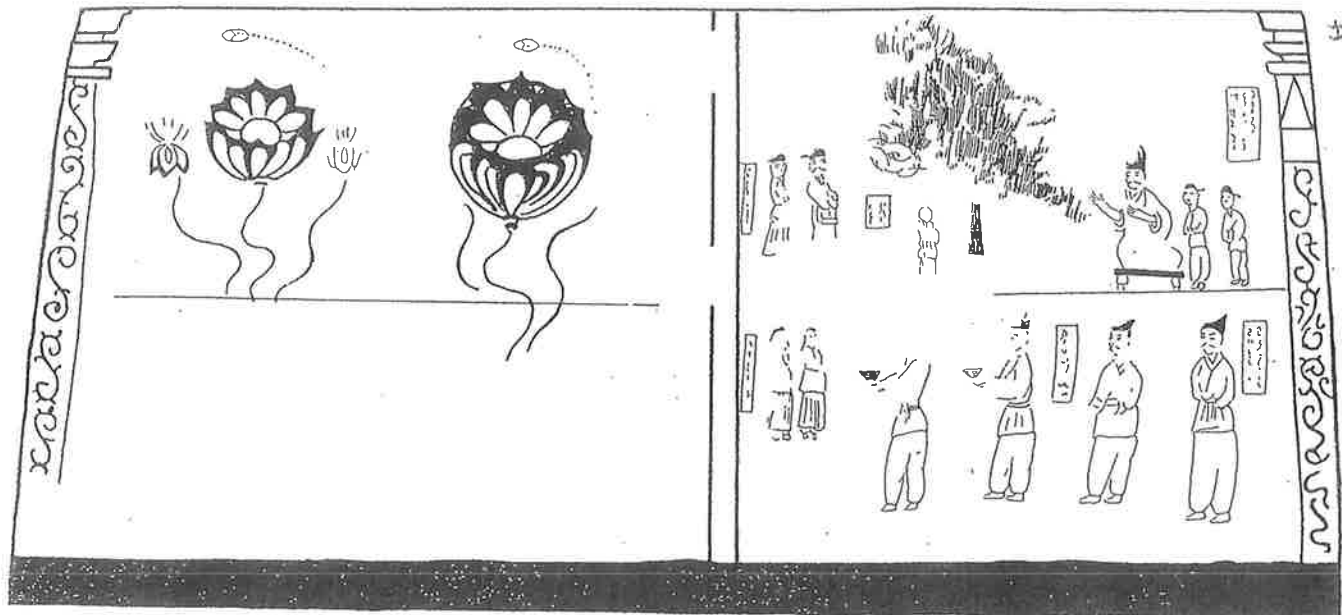


설매동 고구려무덤배

동명왕릉과 그 부근의 고구려유적분포도



長川一宮墳

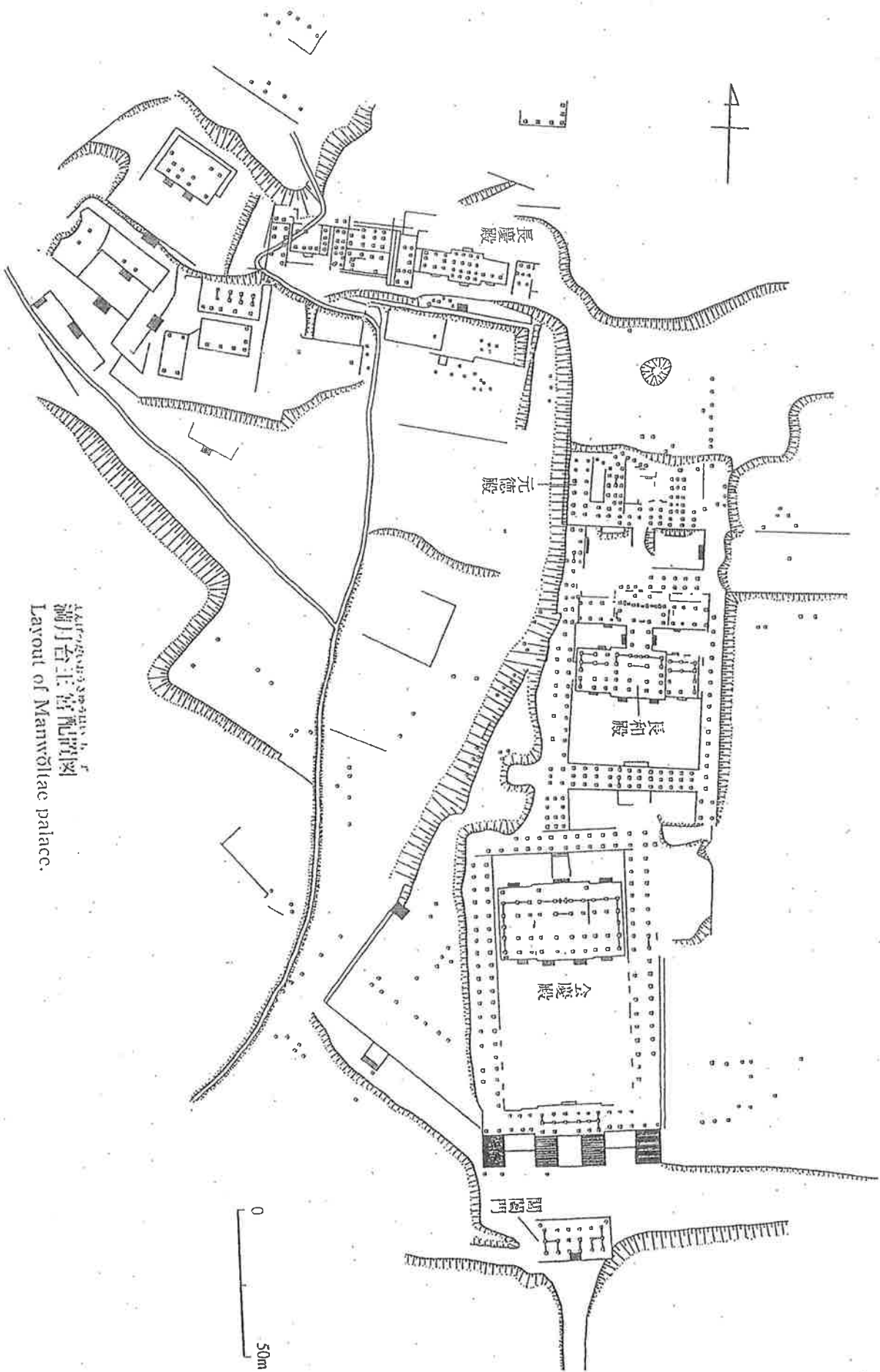


玄室東壁の壁画

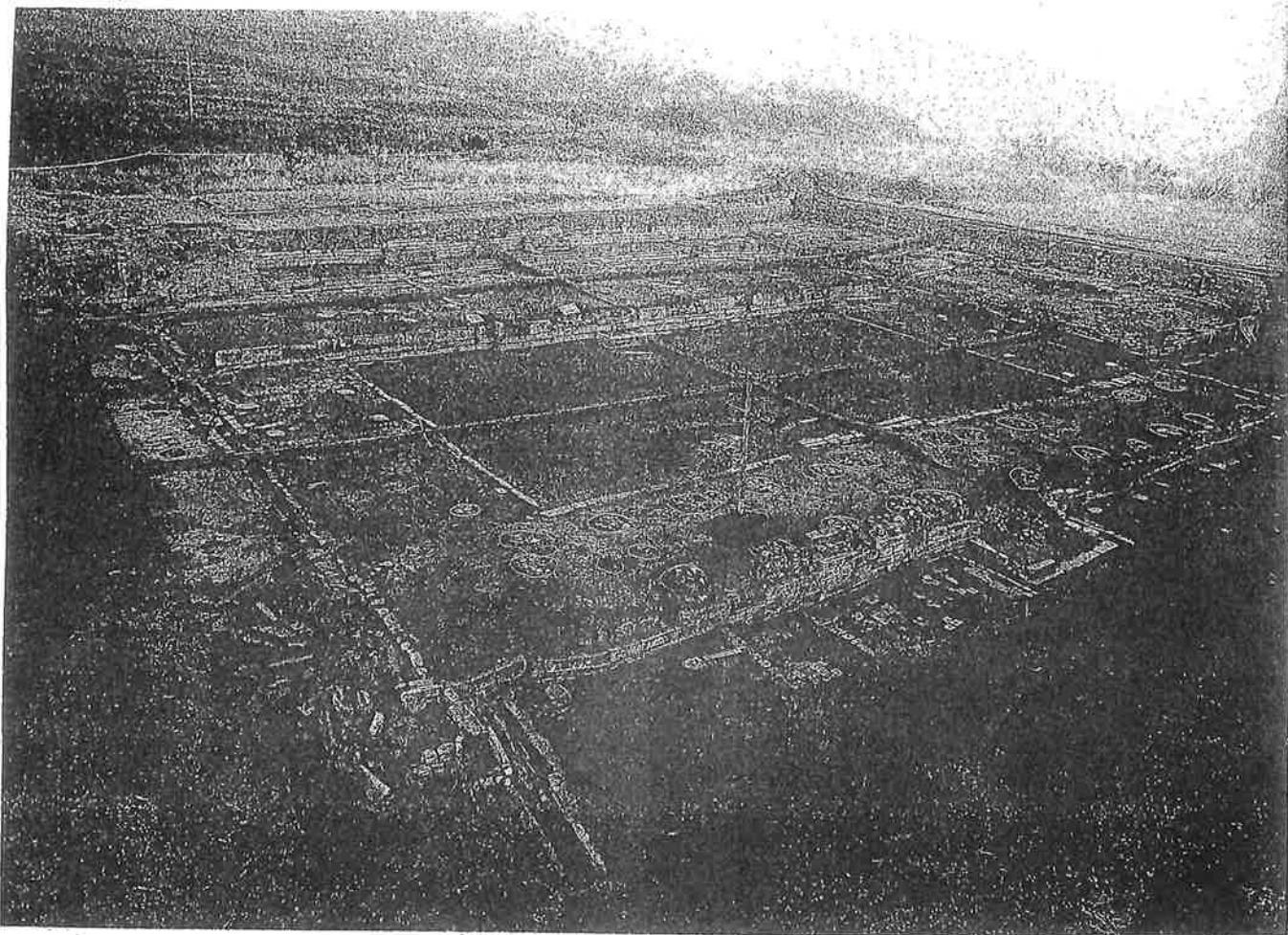
徳興里古墳

被葬者・鎮の墓誌銘

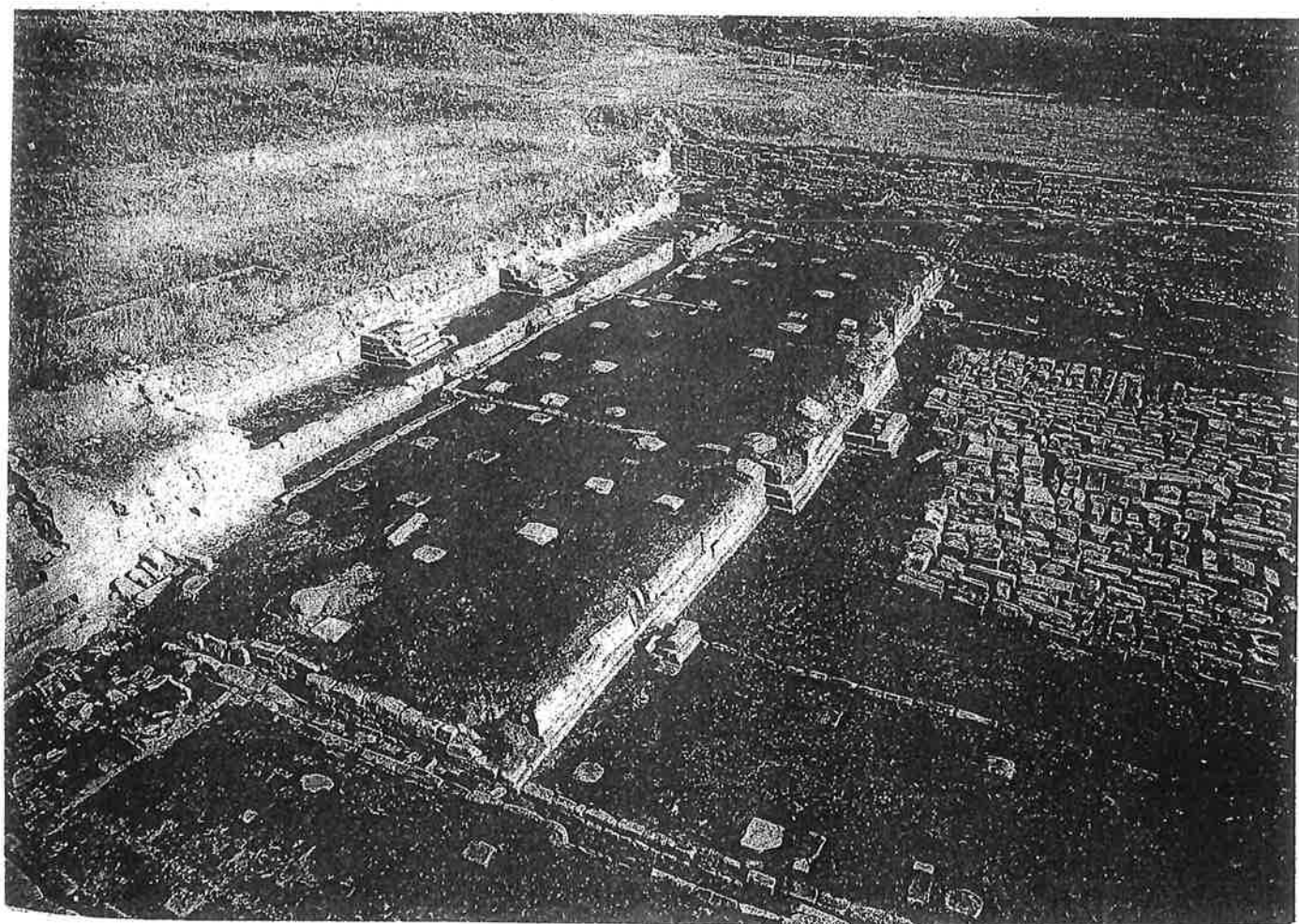
□□郡信都影都郷□甘里
 釋加文佛弟子□□氏鎮仕
 位建威將軍國小大兄左將軍
 龍驤將軍遼東太守使持
 節東夷校尉幽州刺史鎮
 年七十七薨与以永泉十八年
 太歲在戊申十二月辛酉朔廿五日
 乙酉成遷移玉柩周公相地
 孔子擇日武王選時歲使一
 良葬送之後富及七世子孫
 蕃昌仕宦日遷位至侯王
 造城萬功日斂牛羊酒穴米粢
 不可盡擡且食監致食一椽記
 之後世寓寄無彊



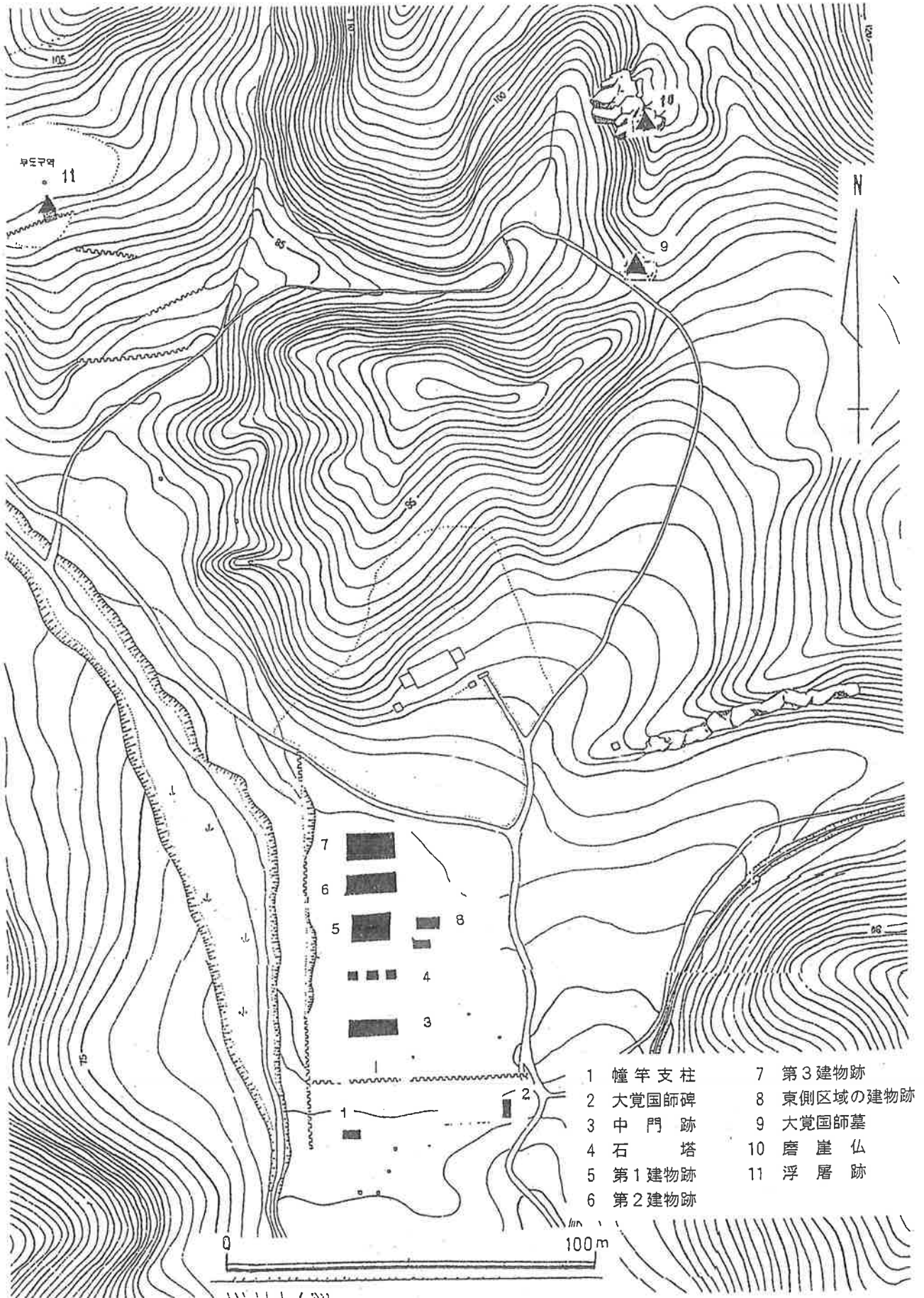
滿月台王宮配置圖
 Layout of Manwōllae palace.



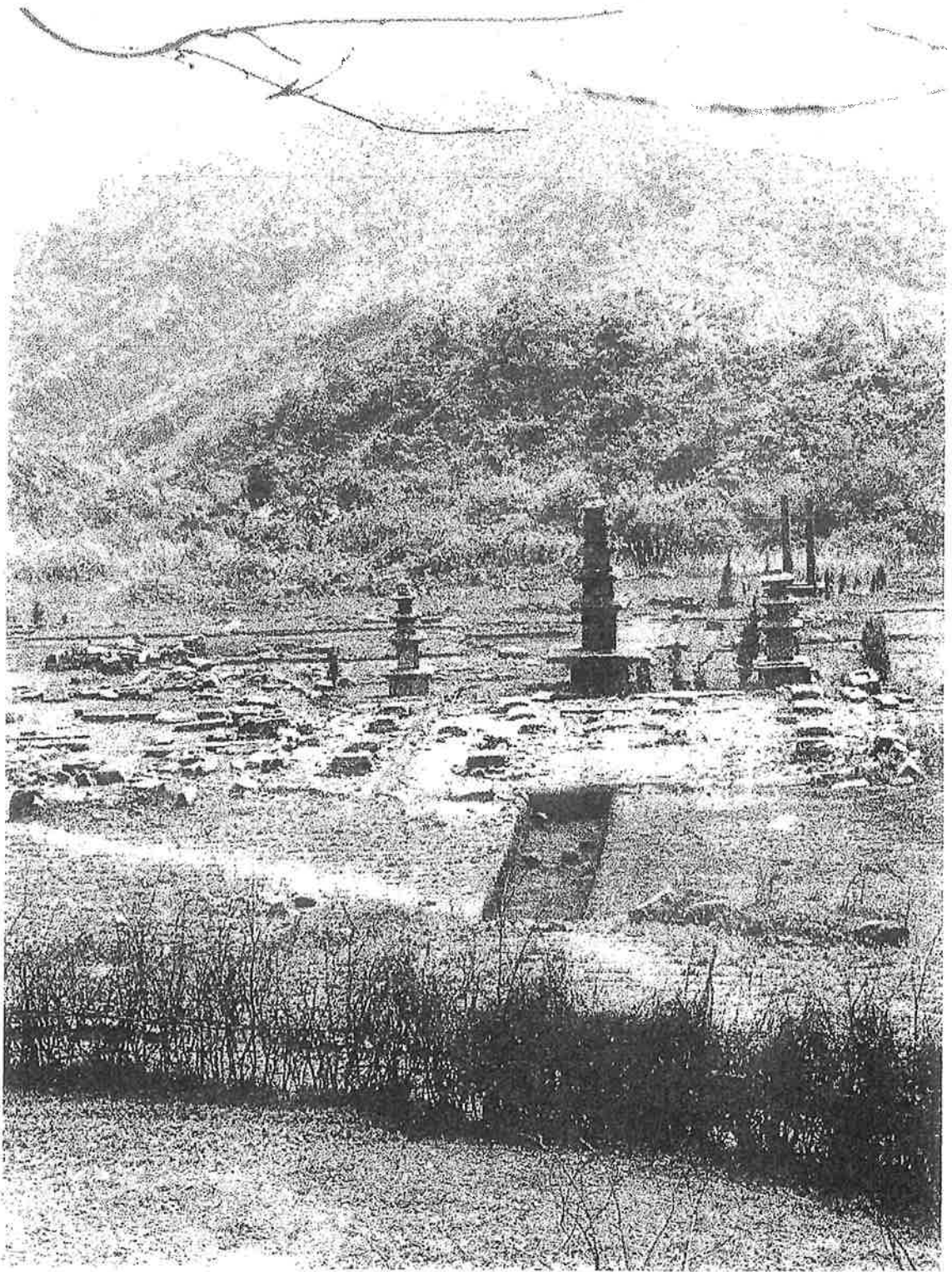
'가' 건물지군 (남서에서) '가' 建物跡群 (南西から)



1호 건물지 (남서에서) 1号 建物跡 (南西から)

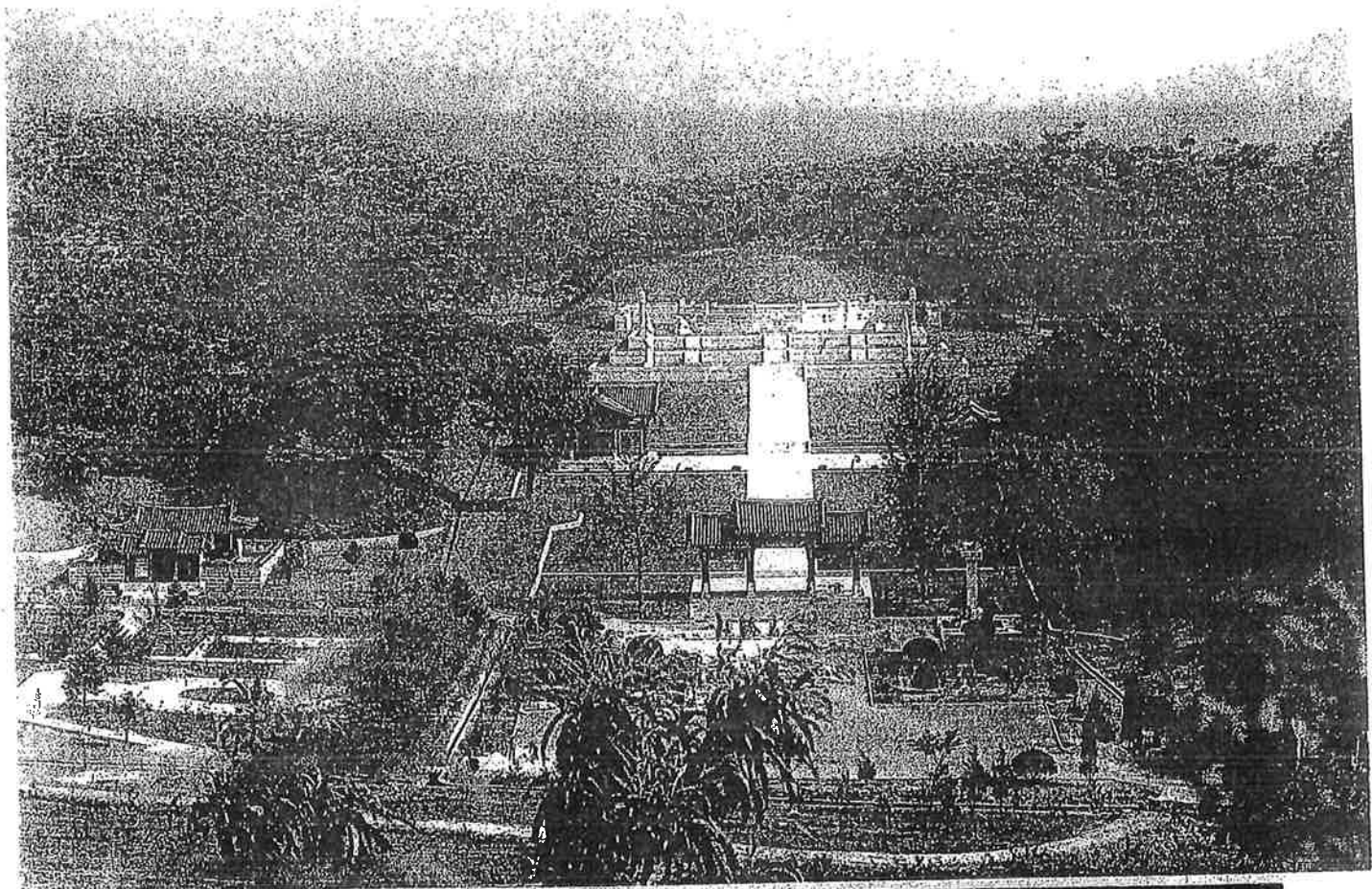


靈通寺遺跡発掘地域略平面図（中間報告）

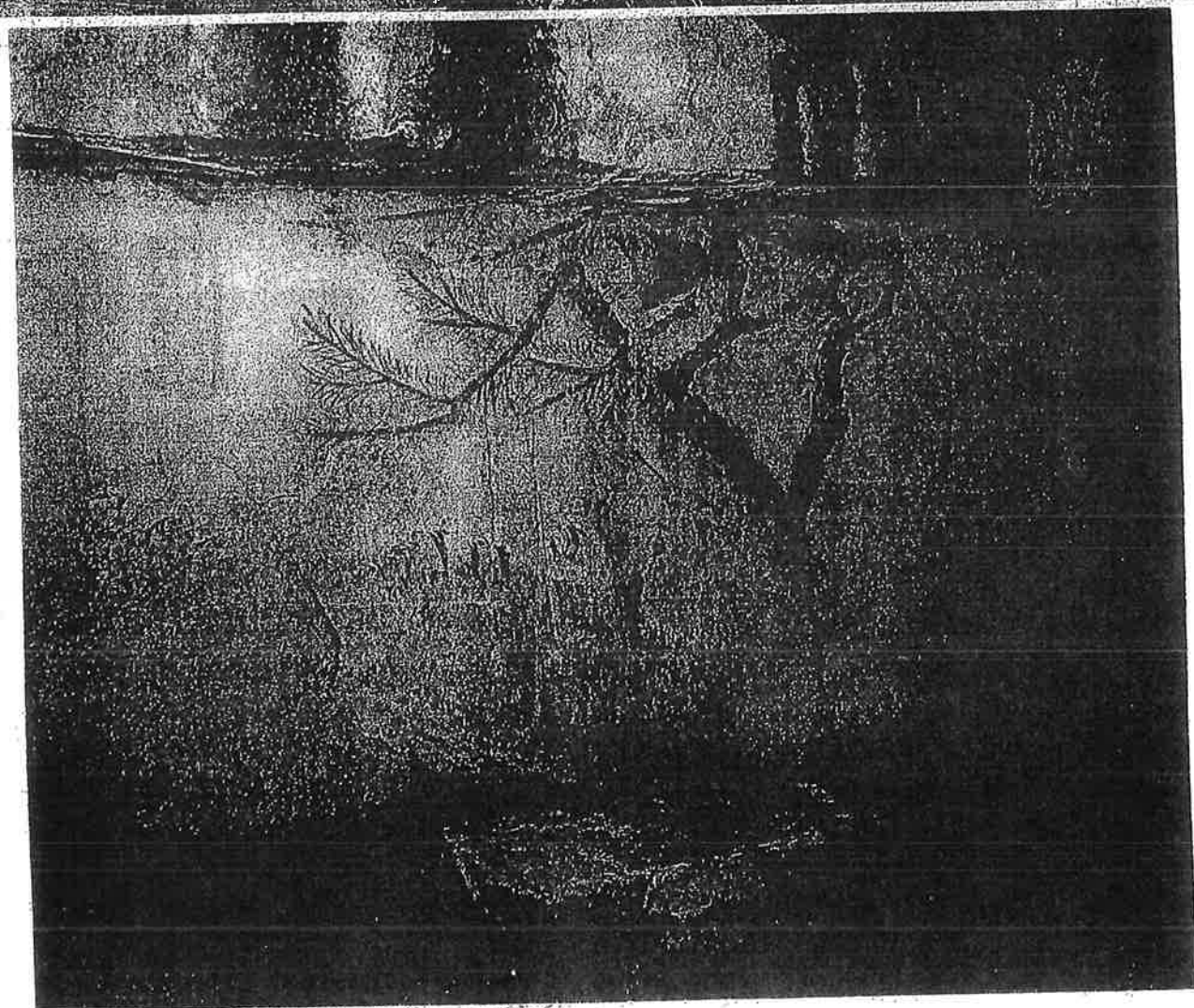


靈通寺遺跡 発掘中の3基の石塔を北方より見る 1998~99

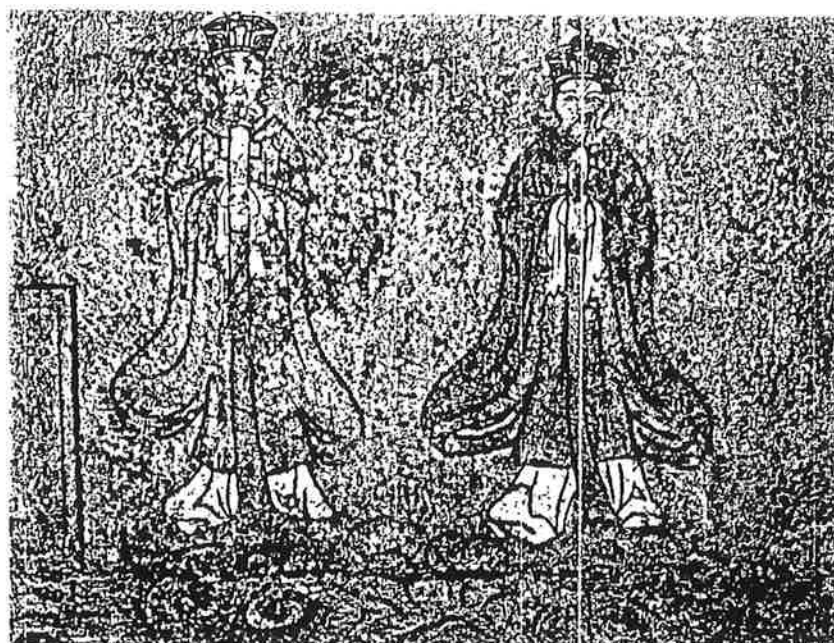
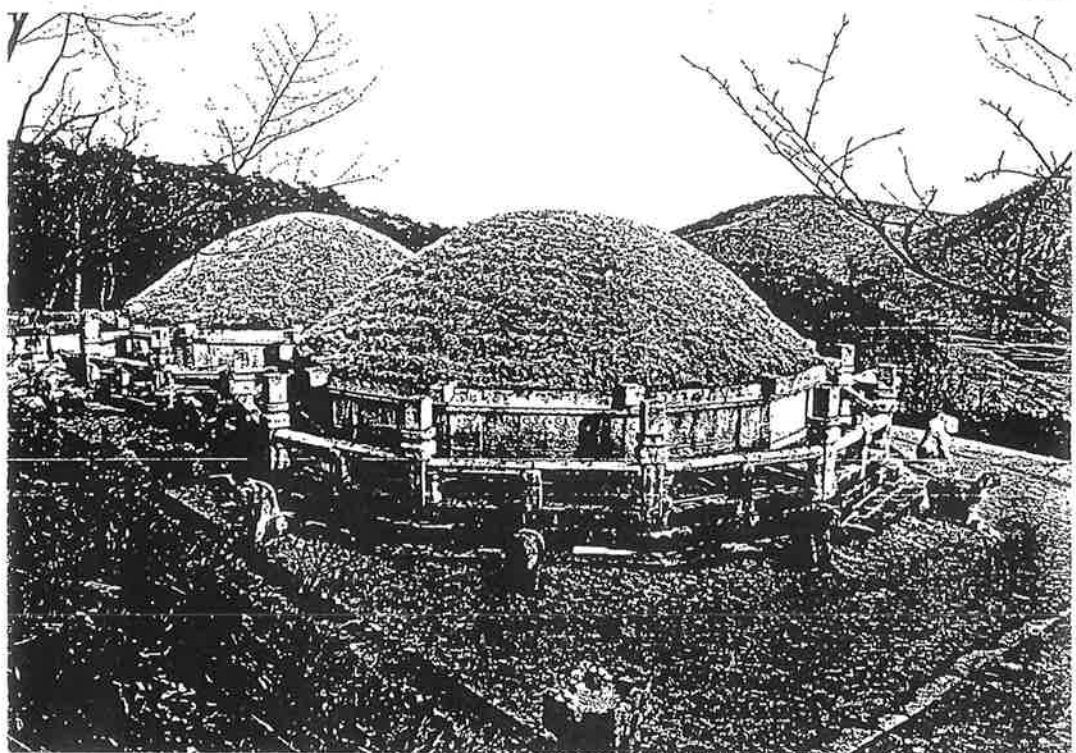
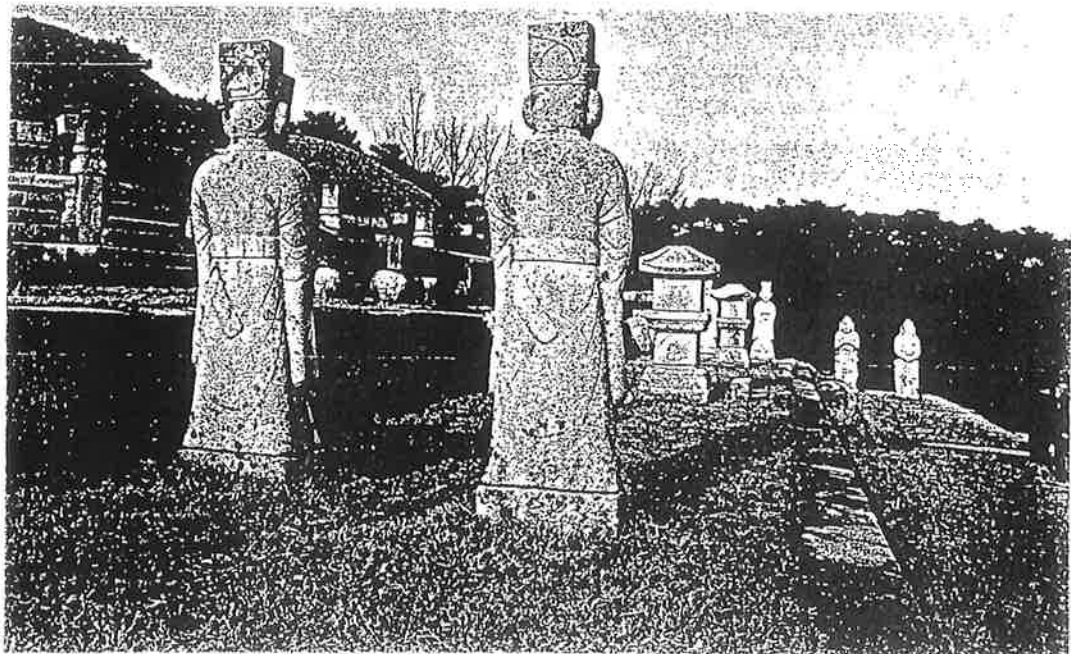
朝鮮民主主義人民共和国社会科学院研究所,2000『前掲書』



太祖王建
顯陵



西壁の壁画。特徴的な松の性質が伝統技法で描かれている。左側は白虎図



恭愍王王妃陵